

平成 22 年
山梨県観光入込客統計調査報告書

目 次

第1部 観光入込客統計調査	1
1. 調査目的.....	2
2. 調査期間.....	2
3. 調査方法.....	2
4. 用語の定義.....	3
5. 調査分析項目.....	5
6. 圏域分類.....	6
7. 平成22年観光客入込客調査結果の概要.....	7
8. 調査結果.....	8
(1) 平成22年度本県観光の動向.....	8
(2) 平成22年度圏域別観光客数（実人数）.....	10
(4) 平成22年度市町村別観光入込客数・実人数.....	12
(5) 平成22年度市町村別観光客延べ人数数.....	13
(6) 平成22年度観光消費額.....	14
9. 前年度との比較（参考データ）.....	15
(1) 前年度との観光入込客数の比較.....	15
(2) 月別の観光動向.....	16
(3) ガソリン価格や交通機関の動向.....	20
(4) 圏域別観光の動向.....	21
第2部 観光地点等パラメータ調査による分析	25
1. 調査の概要.....	26
2. 観光客の特性、動態状況の分析.....	27
(1) 本県観光客の全体像.....	27
(2) 属性（性別・年代）別の観光客の特徴.....	46
(3) 圏域別の観光客の特徴.....	50
参考資料（アンケート調査票）	58

第 1 部 観光入込客統計調査

1. 調査目的

山梨県観光入込客統計調査（以下、「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

2. 調査期間

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

※通常は 1 月 1 日～12 月 31 日までの暦年集計であるが、本年に限り 4 月 1 日より調査基準が変更となったため、年度集計を行う。

3. 調査方法

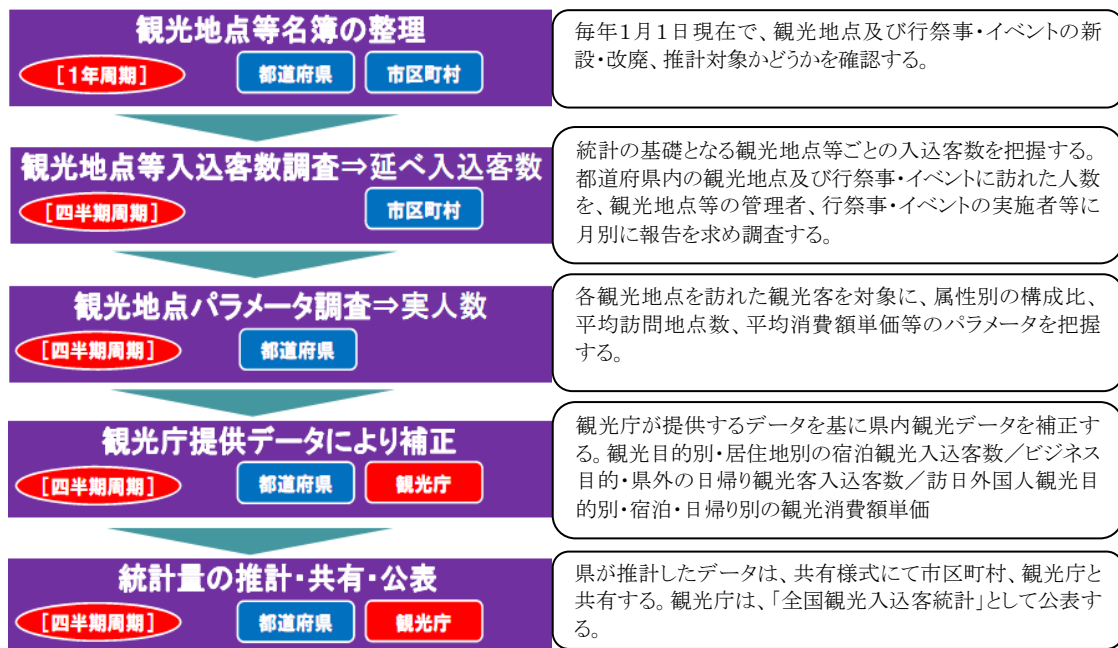
調査方法について、本年度より観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」（平成 21 年 12 月策定）に基づいて全面的に改定した。

これまで各都道府県の観光入込客統計は、各都道府県独自の手法により調査・集計されており、集計結果についても、年度集計と暦年集計の違いや、実人数と延べ人数の違いがあるなど、各都道府県の発表するデータがまちまちであった。

このため観光庁では、観光統計のあり方を抜本的に改善するための共通基準を策定し、平成 22 年 4 月からこの基準に基づく観光入込客統計を開始した。

本県においても、観光客の実態をよりの確に把握するため、観光入込客数や観光消費額を共通基準により調査集計を行うこととした。具体的には、①観光地点等入込客数調査、②観光地点パラメータ調査を実施し、①及び②の調査結果に、観光庁が実施する他の統計調査の結果を用いて統計量を補正し、分析を行った。なお、実人数の集計では行祭事・イベントが除かれる。（図表 1）

図表 1 観光入込客統計に関する共通基準の概要（観光庁）



本年度の調査手法の改定に伴い、前年までの調査・集計結果とは比較分析が困難となったため、移行のための経過措置として本年度に限り原則として対前年比較を行わない。
新たな調査・集計の体系は以下の通りである。

(1) 観光地点等入込客数調査

- ・調査目的 県内の観光施設及び行祭事・イベントを訪れた人数の把握
- ・調査方法 施設管理者及びイベント等主催者に調査票を送付し、月別の観光入込客数を把握
- ・調査対象 観光入込客数が適切に把握でき、前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年特定月の観光入込客数が 5 千人以上ある施設及び行祭事、イベントを対象
- ・調査期間 四半期毎 (4～6、7～9、10～12、1～3 月)
- ・調査地点 445 地点 (観光施設 332+イベント等 113)

(2) 観光地点パラメータ調査

- ・調査目的 観光入込客の属性別構成比、平均訪問地点数、観光消費額単価等の把握
- ・調査方法 調査員による対面式アンケート調査
- ・調査対象 県内の観光施設 10 ヶ所で実施し、1 回の調査で 3,000 サンプル以上の回収を目標 (ただし、サンプル数には同行者を含む)
- ・調査時期 四半期毎 (4～6、7～9、10～12、1～3 月) に含まれる休日 1 日

(3) 集計方法の留意点

- ・各統計数値は、端数処理をしているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。

4. 用語の定義

(1) 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して 1 年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をいう。

(2) ビジネス目的兼観光

旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。

(3) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

(4) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。

(5) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者として、本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。

(6) 訪日外国人客

観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とする。

(7) 観光地点等入込客数

観光地点及び行祭事・イベント（以下「観光地点等」という。）ごとの観光入込客の総数をいう。

(8) 観光入込客数

都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。

(9) 訪問地点数

観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数をいう。

(10) 観光消費額単価

観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額をいう。

(11) 観光消費額

当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額をいう。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

5. 調査分析項目

調査分析項目は以下の通りである。

図表 2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数、延べ人数
宿泊客数	実人数
観光消費額	県内総消費額 1人あたり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 性別 年齢 日帰り・宿泊の別 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 旅行目的 同行者数、グループ形態 利用交通手段 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 自由意見 等

6. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域（峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部）に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行った。

図表3 圏域分類

	圏域名	所在市町村
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の杜・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 櫛形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 風土記の丘周辺	甲府市（湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向） 旧敷島町 甲府市（上記地区以外） 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧櫛形町 旧竜王町、旧双葉町、昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町 旧中道町、旧豊富村
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢渓谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺	旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市（旧山梨市、旧牧丘村、旧三富村） 笛吹市（旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村）
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部	身延町（旧下部町、旧身延町、旧中富町） 早川町 市川三郷町（旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町）、富士川町（旧増穂町、旧鯉沢町） 南部町（旧南部町、旧富沢町）
峡北地域	八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺	旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺	富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 圏域位置図



7. 平成 22 年観光客入込客調査結果の概要

(1) 観光入込客

- | | | |
|------------|-----------|---------------|
| ①観光客実人数 | 25,692 千人 | (イベント・行祭事は除く) |
| ②観光客延人数 | 43,862 千人 | (イベント・行祭事を含む) |
| ③平均訪問観光地点数 | 1.6 地点 | |

※平均訪問観光地点数は延人数からイベント等を除き算定している。

(2) 日帰り・宿泊別観光入込客

- | | |
|----------|-----------|
| ①日帰り客実人数 | 19,724 千人 |
| ②宿泊客実人数 | 5,968 千人 |

(3) 居住地別観光入込客 (訪日外国人客除く)

- | | |
|---------|-----------|
| ①県外客実人数 | 20,065 千人 |
| ②県内客実人数 | 5,102 千人 |

(4) 訪日外国人客

- | | |
|-----------|--------|
| ①日帰り客数(※) | 119 千人 |
| ②宿泊客数 | 406 千人 |

※本項目はパラメータ調査におけるサンプル数が十分確保できず、誤差が大きくなっている可能性がある。

(5) 目的別観光入込客 (延べ人数)

- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| ①自然 | 5,884 千人 | ②文化・歴史 | 8,597 千人 |
| ③温泉・健康 | 6,213 千人 | ④スポ・レク | 9,520 千人 |
| ⑤都市型観光 | 4,704 千人 | ⑥行祭事・イベント | 3,861 千人 |
| ⑦その他 | 5,084 千人 | | |

※本項目は観光地点等から報告のあった観光入込客を単純集計している。

(6) 季節別観光入込客

- | | | | |
|---------------|----------|------------|----------|
| ①春(4, 5, 3 月) | 4,847 千人 | ②夏(6~8 月) | 7,903 千人 |
| ③秋(9~11 月) | 8,456 千人 | ④冬(12~2 月) | 4,486 千人 |

(7) 観光消費額

- | | |
|--------------|----------|
| ①観光消費額 | 2,548 億円 |
| ②1 人当たり平均消費額 | 9,919 円 |

※本項目は観光パラメータ調査より算定している。

8. 調査結果

(1) 平成 22 年度本県観光の動向

平成 22 年度の山梨県における観光入込客数は、実人数で 2,569 万人と推計された。(図表 5-1) また延べ人数では 4,386 万人となった。5 圏域別では、富士・東部が 1,113 万人で最も多く、構成比では県内全体の 43.3%を占めている。次いで峡東が 486 万人 (18.9%)、峡中が 400 万人 (15.6%)、峡北が 370 万人 (14.4%)、峡南が 200 万人 (7.8%) となっている。

観光入込客の動向では、全体的に長引く景気低迷により、近場の観光スポットで消費を押しさえながら楽しむ安近短の傾向¹が続いていると見られる。このため、自転車や徒歩で街を巡るまちなか観光に対応して、観光用貸し自転車を整備する自治体も目立った。峡東などでは地域の歴史や文化、産業を歩いて見て回るフットパスやワインツーリズムが人気を呼び、他の圏域にも広がっている。

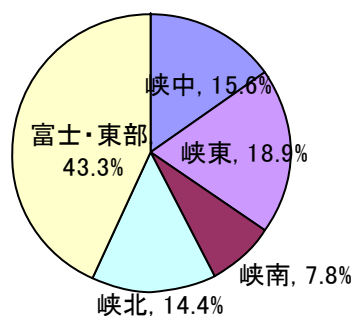
本年度の明るい話題では、9月に「甲府鳥もつ煮」がB-1グランプリで優勝したことから新たな観光資源として話題となり、甲府を中心に経済波及効果²も見られた。またここ数年来の「富士山登山ブーム」にさらに拍車がかかり、「山ガール」と呼ばれる女性の登山者の姿も目立った。

一方で、9月には尖閣諸島で発生した海上保安庁の巡視船と中国漁船の衝突事件は、中国からの観光入込客のキャンセルに発展し、本県のインバウンド観光に暗い影を落とした。さらに3月11日に発生した東日本大震災及び福島原発事故の影響により、年度末にかけて、国内外の観光が全面的に自粛状態となり、県内観光にも深刻な影響が出た。

図表 5-1 圏域別観光客 (実人数)

項目	観光客数(人)	構成比(%)
峡中	4,004,447	15.6%
峡東	4,856,383	18.9%
峡南	1,998,593	7.8%
峡北	3,699,243	14.4%
富士・東部	11,133,334	43.3%
合計	25,692,000	100.0%

圏域別観光客の割合(実人数)



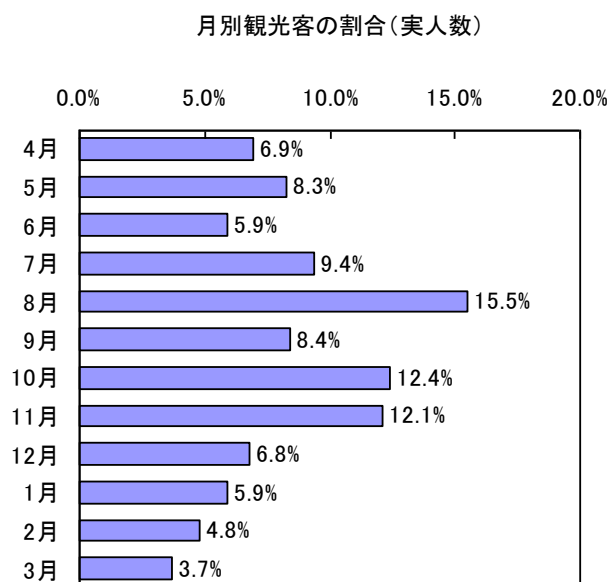
¹ 安近短とは、金額が安く、場所が近く、期間が短いという近年の観光消費の傾向をいう。

² 山梨総合研究所の「甲府鳥もつ煮」調査報告書では、B-1グランプリ優勝に伴う経済効果は、観光消費など年 28 億円と算定された。

月別の観光入込客（実人数）では、8月が397万人で構成比15.5%と最も多く、次いで10月の319万人（12.4%）、11月の311万人（12.1%）と観光客の多い月となっている。一方、東日本大震災と福島原発事故の影響を受けて、3月は94万人（3.7%）と少ない結果となった。（図表5-2）

図表5-2 月別観光入込客(実人数)

項目	観光客数(人)	構成比(%)
4月	1,776,221	6.9%
5月	2,131,758	8.3%
6月	1,517,021	5.9%
7月	2,413,223	9.4%
8月	3,972,347	15.5%
9月	2,155,430	8.4%
10月	3,187,199	12.4%
11月	3,113,676	12.1%
12月	1,747,126	6.8%
1月	1,514,898	5.9%
2月	1,224,127	4.8%
3月	938,975	3.7%
年度合計	25,692,000	100.0%



(2) 平成 22 年度圏域別観光客数 (実人数)

平成 22 年度の観光入込客数を圏域別の詳細でみると、実人数で最も入込が多いのは富士吉田・河口湖・三つ峠周辺で 469 万人となった。(図表 7)。

図表 7 平成 22 年度 観光入込客数圏域月別一覧表 (実人数)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H22年度合計
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	21,329	30,074	26,453	25,155	34,830	34,357	56,335	113,684	29,828	50,719	21,026	13,986	457,776
	芸術の森・武田神社周辺	166,018	226,654	100,568	169,423	175,687	126,850	295,685	290,103	140,096	100,525	123,069	106,150	2,020,828
	広河原・芦安温泉周辺	129	348	330	1,266	1,960	1,097	890	521	0	0	0	0	6,541
	楡形山・果実郷周辺	12,629	14,594	29,861	13,661	14,990	11,598	17,481	15,863	15,126	9,611	9,750	8,727	173,891
	釜無川沿岸	63,850	62,249	60,591	65,372	67,896	57,505	140,764	110,332	75,456	55,234	102,322	50,843	912,414
	風土記の丘周辺	27,078	42,472	37,610	40,460	47,461	33,073	53,174	53,219	32,868	22,321	21,040	22,220	432,996
	小計	291,037	376,390	255,413	315,337	342,825	264,481	564,328	583,722	293,373	238,409	277,208	201,925	4,004,446
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	53,080	39,999	35,258	22,697	24,981	35,411	38,172	44,861	24,586	28,623	22,696	16,509	386,873
	勝沼ぶどう郷周辺	48,671	48,152	64,399	103,126	177,415	213,959	308,578	103,486	63,049	39,324	35,102	23,004	1,228,265
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	69,070	88,483	112,334	80,704	125,268	115,528	218,614	170,512	90,048	67,378	60,102	55,486	1,253,527
	石和温泉・果実郷周辺	259,533	122,525	105,737	162,291	330,008	143,104	220,999	201,981	126,881	129,904	95,426	89,327	1,987,716
	小計	430,353	299,159	317,728	368,818	657,672	508,002	786,363	520,840	304,564	265,228	213,325	184,326	4,856,381
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺	174,745	115,010	63,875	65,590	68,975	50,939	124,450	157,759	91,296	92,819	36,673	62,454	1,104,585
	早川周辺	492	9,055	464	436	1,053	1,060	1,041	1,973	504	319	80	106	16,583
	峡南北部	55,225	31,217	27,962	44,981	159,828	31,535	56,316	79,818	49,919	37,136	29,288	28,035	631,260
	峡南南部	22,981	17,557	13,689	15,997	46,786	15,678	24,583	26,682	21,385	16,579	12,821	11,427	246,165
	小計	253,443	172,840	105,990	127,004	276,642	99,212	206,389	266,231	163,104	146,853	78,862	102,022	1,998,593
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	108,531	183,338	139,571	224,791	385,606	210,637	287,599	200,169	147,778	128,158	96,377	84,818	2,197,373
	金峰・みずがき周辺	10,914	16,450	12,675	17,539	27,972	18,541	31,345	31,616	12,077	5,610	2,820	4,701	192,260
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	83,829	73,728	54,967	87,812	162,427	81,134	123,168	102,345	106,016	48,208	49,078	43,750	1,016,462
	茅ヶ岳周辺	7,555	18,092	23,926	32,960	129,672	8,439	13,079	21,071	23,909	6,140	3,690	4,615	293,148
	小計	210,828	291,608	231,139	363,102	705,676	318,751	455,192	355,201	289,780	188,117	151,965	137,884	3,699,243
富士・東部圏域	富士山五合目	136,402	160,083	127,444	400,265	500,947	252,234	277,852	173,256	78,808	40,887	37,179	47,375	2,232,732
	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	219,197	309,507	259,573	499,859	857,922	363,233	453,681	677,805	292,871	382,955	241,211	136,140	4,693,954
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	105,084	321,580	85,334	138,041	275,239	131,266	163,020	164,572	97,168	121,277	131,898	45,618	1,780,097
	山中湖・忍野周辺	30,571	62,332	30,363	61,834	152,364	72,785	93,858	133,150	98,473	44,399	32,494	21,859	834,482
	大月・北都留	36,941	56,889	46,083	50,054	80,216	60,608	73,282	116,284	57,586	38,389	23,137	15,744	655,213
	桂川・道志川周辺	62,365	81,372	57,953	88,908	122,844	84,857	113,233	122,614	71,398	48,384	36,847	46,081	936,856
	小計	590,560	991,763	606,751	1,238,961	1,989,532	964,983	1,174,926	1,387,681	696,305	676,291	502,767	312,818	11,133,334
合計	1,776,221	2,131,758	1,517,021	2,413,223	3,972,347	2,155,430	3,187,199	3,113,676	1,747,126	1,514,898	1,224,127	938,975	25,692,000	
四半期合計			5,425,000		8,541,000		8,048,000		3,678,000					
月別構成比		6.9%	8.3%	5.9%	9.4%	15.5%	8.4%	12.4%	12.1%	6.8%	5.9%	4.8%	3.7%	100.0%

(3) 平成 22 年度圏域別観光入込客数（延人数）

延べ人数で見た圏域別の詳細では、富士・東部圏域が 1,910 万人となっている。（図表 8）

図表 8 平成 22 年 観光客圏域別月別一覧表（延べ人数）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H22年度合計
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	46,676	65,798	57,876	46,423	64,279	63,407	70,276	141,816	37,209	85,361	35,388	23,538	738,047
	芸術の森・武田神社周辺	363,231	495,898	220,034	312,672	324,231	234,102	368,856	361,893	174,765	169,186	207,129	178,654	3,410,651
	広河原・芦安温泉周辺	283	762	722	2,336	3,618	2,025	1,110	650	-	-	-	-	11,506
	櫛形山・果実郷周辺	27,631	31,930	65,332	25,212	27,665	21,404	21,807	19,789	18,869	16,175	16,409	14,687	306,910
	釜無川沿岸	139,697	136,194	132,568	120,645	125,303	106,126	175,598	137,635	94,128	92,960	172,211	85,570	1,518,635
	風土記の丘周辺	59,244	92,924	82,288	74,669	87,590	61,037	66,332	66,389	41,001	37,566	35,411	37,396	741,847
	小計	636,762	823,506	558,820	581,957	632,686	488,101	703,979	728,172	365,972	401,248	466,548	339,845	6,727,596
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	116,133	87,514	77,142	41,888	46,103	65,352	47,618	55,962	30,670	48,173	38,198	27,785	682,538
	勝沼ぶどう郷周辺	106,488	105,351	140,899	190,319	327,421	394,863	384,940	129,095	78,651	66,183	59,077	38,716	2,022,003
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	151,118	193,592	245,776	148,940	231,183	213,207	272,713	212,708	112,331	113,399	101,153	93,385	2,089,505
	石和温泉・果実郷周辺	567,833	268,074	231,342	299,510	609,032	264,100	275,688	251,964	158,280	218,631	160,604	150,339	3,455,397
		小計	941,572	654,531	695,159	680,657	1,213,739	937,522	980,959	649,729	379,932	446,386	359,032	310,225
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺	382,325	251,632	139,753	121,047	127,293	94,008	155,247	196,798	113,888	156,216	61,721	105,111	1,905,039
	早川周辺	1,076	19,812	1,015	805	1,944	1,956	1,298	2,461	629	537	135	179	31,847
	峡南北部	120,828	68,299	61,178	83,012	294,964	58,198	70,252	99,570	62,272	62,501	49,292	47,184	1,077,550
	峡南南部	50,280	38,414	29,951	29,523	86,344	28,934	30,666	33,285	26,677	27,903	21,578	19,232	422,787
	小計	554,509	378,157	231,897	234,387	510,545	183,096	257,463	332,114	203,466	247,157	132,726	171,706	3,437,223
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	237,456	401,127	305,368	414,854	711,638	388,733	358,769	249,703	184,348	215,694	162,205	142,751	3,772,646
	金峰・みずがき周辺	23,878	35,990	27,732	32,368	51,622	34,218	39,102	39,440	15,065	9,442	4,746	7,912	321,515
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	183,409	161,309	120,263	162,058	299,760	149,733	153,648	127,672	132,251	81,136	82,599	73,633	1,727,471
	茅ヶ岳周辺	16,529	39,584	52,347	60,827	239,310	15,574	16,316	26,285	29,826	10,334	6,211	7,767	520,910
	小計	461,272	638,010	505,710	670,107	1,302,330	588,258	567,835	443,100	361,490	316,606	255,761	232,063	6,342,542
富士・東部圏域	富士山五合目	298,434	350,246	278,836	738,692	924,502	465,500	346,610	216,130	98,310	68,814	62,574	79,734	3,928,382
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	479,583	677,173	567,922	922,494	1,583,302	670,349	565,950	845,537	365,346	644,523	405,965	229,127	7,957,271
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	229,913	703,586	186,703	254,756	507,955	242,252	203,362	205,298	121,214	204,112	221,987	76,776	3,157,914
	山中湖・忍野周辺	66,887	136,376	66,432	114,116	281,188	134,325	117,085	166,100	122,842	74,724	54,689	36,790	1,371,554
	大月・北都留	80,823	124,469	100,825	92,374	148,039	111,853	91,416	145,060	71,837	64,610	38,940	26,498	1,096,744
	桂川・道志川周辺	136,449	178,034	126,796	164,080	226,709	156,605	141,254	152,956	89,066	81,432	62,015	77,556	1,592,952
		小計	1,292,089	2,169,884	1,327,514	2,286,512	3,671,695	1,780,884	1,465,677	1,731,081	868,615	1,138,215	846,170	526,481
	合計	3,886,204	4,664,088	3,319,100	4,453,620	7,330,995	3,977,861	3,975,913	3,884,196	2,179,475	2,549,612	2,060,237	1,580,320	43,861,621
	月別構成比	8.9%	10.6%	7.6%	10.2%	16.7%	9.1%	9.1%	8.9%	5.0%	5.8%	4.7%	3.6%	100.0%

(4) 平成22年度市町村別観光入込客数・実人数

市町村別観光入込客数（実人数）では、富士吉田市が368万人と最も多く、北杜市が347万人で続いている。（図表9）

図表9 平成22年度 観光客市町村月別一覧表（実人数）

（単位：人）

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H22年度合計
1 甲府市	190,164	266,168	135,165	202,893	222,901	167,231	362,177	411,691	167,601	151,563	144,117	119,204	2,540,875
2 富士吉田市	168,578	262,351	189,533	342,874	763,693	346,029	404,767	398,636	232,675	305,645	142,238	121,624	3,678,643
3 都留市	19,151	23,565	20,530	26,704	31,070	29,024	37,111	36,321	29,080	17,837	13,438	12,019	295,850
4 山梨市	69,070	88,483	112,334	80,704	125,268	115,528	218,614	170,512	90,048	67,378	60,102	55,486	1,253,527
5 大月市	13,066	15,009	22,954	18,438	33,620	21,406	27,168	52,726	22,388	13,188	7,503	4,777	252,243
6 韮崎市	15,729	14,443	12,821	16,432	35,014	15,222	36,104	21,632	20,045	15,043	12,255	13,410	228,150
7 南アルプス市	25,651	29,230	43,675	40,233	37,017	28,222	40,898	37,676	37,915	28,277	73,649	24,186	446,629
8 北杜市	195,099	277,165	218,318	346,670	670,662	303,529	419,088	333,569	269,735	173,075	139,710	124,474	3,471,094
9 甲斐市	38,239	43,049	43,126	38,167	44,409	38,619	103,058	61,864	51,326	35,147	36,445	34,517	567,966
10 笛吹市	259,533	122,525	105,737	162,291	330,008	143,104	220,999	201,981	126,881	129,904	95,426	89,327	1,987,716
11 上野原市	17,144	20,319	17,455	21,212	23,341	28,081	28,127	36,505	28,175	16,434	11,962	12,022	260,777
12 甲州市	101,751	88,150	99,857	125,823	202,396	249,370	346,750	148,347	87,635	67,947	57,798	39,513	1,815,131
13 中央市	36,258	37,295	32,697	33,210	37,661	29,584	44,895	71,261	35,346	22,552	22,007	23,628	426,394
14 市川三郷町	22,059	13,437	10,820	17,486	136,883	14,232	21,508	20,904	23,254	19,489	14,184	11,122	325,378
15 早川町	492	9,055	464	436	1,053	1,060	1,041	1,973	504	319	80	106	16,583
16 身延町	174,745	115,010	63,875	65,590	68,975	50,939	124,450	157,759	91,296	92,819	36,673	62,454	1,104,585
17 南部町	22,981	17,557	13,689	15,997	46,786	15,678	24,583	26,682	21,385	16,579	12,821	11,427	246,165
18 富士川町	33,166	17,780	17,142	27,495	22,945	17,303	34,808	58,914	26,665	17,647	15,104	16,913	305,882
19 昭和町	727	828	780	834	836	825	13,891	1,231	1,186	889	990	988	22,588
20 道志村	33,432	44,912	27,144	48,324	73,641	42,909	60,803	70,564	28,126	19,977	14,775	25,515	490,122
21 西桂町	2,858	3,350	2,891	4,397	5,158	4,076	5,058	5,048	4,066	3,441	2,638	3,046	48,577
22 忍野村	3,560	9,198	4,716	9,954	24,399	8,060	10,894	6,723	3,331	3,576	2,730	2,297	89,438
23 山中湖村	27,011	53,134	25,647	51,881	127,965	64,725	82,964	126,427	95,143	40,822	29,764	19,562	745,045
24 鳴沢村	103,856	148,093	92,138	232,008	349,810	173,339	206,578	171,442	107,638	105,193	86,779	55,028	1,831,902
25 富士河口湖町	188,248	380,725	190,680	463,283	520,605	227,364	283,208	445,555	128,534	134,281	181,271	52,481	3,196,235
26 小菅村	2,630	11,099	2,209	3,246	5,648	3,667	4,871	6,405	3,004	2,916	1,720	1,233	48,648
27 丹波山村	11,185	19,467	10,754	16,640	30,582	16,304	22,745	30,727	13,307	12,981	7,948	3,213	195,853
合計	1,776,221	2,131,758	1,517,021	2,413,223	3,972,347	2,155,430	3,187,199	3,113,676	1,747,126	1,514,898	1,224,127	938,975	25,692,000
四半期合計			5,425,000			8,541,000			8,048,000			3,678,000	
月別構成比	6.9%	8.3%	5.9%	9.4%	15.5%	8.4%	12.4%	12.1%	6.8%	5.9%	4.8%	3.7%	100.0%

(5) 平成 22 年度市町村別観光客延べ人数数

平成 22 年度の市町村別観光客数（延人数）では、富士吉田市が 629 万人となっている。（図表 10）

図表 10 平成 22 年度 観光客市町村月別一覧表（延人数）

（単位：人）

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H22年度合計
1 甲府市	416,055	582,350	295,728	374,441	411,366	308,626	451,802	513,569	209,076	255,084	242,552	200,624	4,261,273
2 富士吉田市	368,832	573,999	414,680	632,777	1,409,401	638,600	504,932	497,284	290,254	514,408	239,391	204,696	6,289,254
3 都留市	41,900	51,559	44,917	49,282	57,339	53,564	46,295	45,309	36,276	30,020	22,617	20,229	499,307
4 山梨市	151,118	193,592	245,776	148,940	231,183	213,207	272,713	212,708	112,331	113,399	101,153	93,385	2,089,505
5 大月市	28,588	32,839	50,222	34,028	62,046	39,505	33,891	65,774	27,928	22,196	12,628	8,040	417,685
6 韭崎市	34,414	31,599	28,051	30,325	64,619	28,093	45,038	26,985	25,005	25,317	20,626	22,570	382,642
7 南アルプス市	56,122	63,953	95,556	74,250	68,316	52,083	51,019	46,999	47,297	47,591	123,954	40,706	767,846
8 北杜市	426,858	606,411	477,659	639,782	1,237,711	560,165	522,797	416,115	336,485	291,289	235,135	209,493	5,959,900
9 甲斐市	83,664	94,188	94,356	70,437	81,958	71,272	128,561	77,173	64,027	59,154	61,338	58,093	944,221
10 笛吹市	567,833	268,074	231,342	299,510	609,032	264,100	275,688	251,964	158,280	218,631	160,604	150,339	3,455,397
11 上野原市	37,509	44,456	38,190	39,147	43,076	51,823	35,088	45,539	35,147	27,659	20,132	20,234	438,000
12 甲州市													
13 中央市	79,330	81,597	71,538	61,289	69,504	54,598	56,005	88,895	44,093	37,956	37,038	39,767	721,610
14 市川三郷町	48,263	29,399	23,673	32,270	252,619	26,265	26,830	26,077	29,009	32,800	23,872	18,719	569,796
15 早川町	1,076	19,812	1,015	805	1,944	1,956	1,298	2,461	629	537	135	179	31,847
16 身延町	382,325	251,632	139,753	121,047	127,293	94,008	155,247	196,798	113,888	156,216	61,721	105,111	1,905,039
17 南部町	50,280	38,414	29,951	29,523	86,344	28,934	30,666	33,285	26,677	27,903	21,578	19,232	422,787
18 富士川町	72,565	38,900	37,505	50,742	42,345	31,933	43,422	73,493	33,263	29,701	25,420	28,465	507,754
19 昭和町													
20 道志村	73,145	98,263	59,388	89,182	135,905	79,188	75,850	88,026	35,086	33,622	24,867	42,943	835,465
21 西桂町													
22 忍野村	7,790	20,124	10,319	18,370	45,028	14,874	13,590	8,387	4,155	6,019	4,595	3,866	157,117
23 山中湖村	59,097	116,252	56,113	95,746	236,160	119,451	103,495	157,713	118,687	68,705	50,094	32,924	1,214,437
24 鳴沢村	227,228	324,015	201,590	428,173	645,577	319,899	257,699	213,867	134,274	177,043	146,051	92,614	3,168,030
25 富士河口湖町	411,870	832,992	417,190	854,993	960,780	419,603	353,292	555,813	160,342	225,998	305,084	88,327	5,586,284
26 小菅村	5,754	24,284	4,832	5,991	10,423	6,768	6,076	7,990	3,747	4,907	2,895	2,076	85,743
27 丹波山村	24,471	42,591	23,529	30,710	56,439	30,089	28,373	38,331	16,600	21,847	13,377	5,407	331,764
合計	3,886,204	4,664,088	3,319,100	4,453,620	7,330,995	3,977,861	3,975,913	3,884,196	2,179,475	2,549,612	2,060,237	1,580,320	43,861,621
月別構成比	8.9%	10.6%	7.6%	10.2%	16.7%	9.1%	9.1%	8.9%	5.0%	5.8%	4.7%	3.6%	100.0%

(6) 平成 22 年度観光消費額

本県の観光消費額を、国からの提供データ、アンケート調査に基づく 1 人あたり観光消費額単価等から算出した。この結果、総消費額は 2,548 億円となった。パラメータ調査では、1 人当たりの平均観光消費額は 10,381 円となった。(図表 11-1, 11-2, 11-3)

図表 11-1 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

観光入込客数(実人数) (千人)

	日帰り客 19,724		宿泊客 5,968		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	4,474	36	428	163	5,102
県外	14,955	140	4,125	845	20,065
訪日外国人	119	-	371	35	525
合計	19,548	176	4,924	1,043	25,692

観光消費額

観光入込客数(実人数) × 消費額単価 (百万円)

	日帰り客 127,436		宿泊客 127,406		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	18,736	114	6,329	-	25,179
県外	107,181	439	93,653	14,639	215,912
訪日外国人	966	-	11,323	1,462	13,751
合計	126,883	553	111,305	16,101	254,842

図表 11-2 1 人あたり平均観光消費額の内訳

観光消費額単価 (円/人)

	日帰り客		宿泊客	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
県内	4,187	3,183	14,770	-
県外	7,167	3,137	22,703	17,324
訪日外国人	8,109	-	30,553	41,861

※宿泊客、日帰り客とも、県外客と県内客人数比による加重平均であるため、図表 11-3 の 1 人あたり観光消費額とは異なる。

図表 11-3 観光地点パラメータ調査による平均値(参考値)

サンプル数 (人)	平均同行者 数(人)	1人あたり平均訪 問地点数(地点)	1人あたり平均 消費額(円)	1人あたり平均訪問 都道府県数(箇所)
15,026	4.7	1.6	9,919	1.2

観光動向に関する参考データ

9. 前年度との比較（参考データ）

(1) 前年度との観光入込客数の比較

本年度の調査では、従来の調査・集計方法が全面的に国の共通基準と調査要領に変更されたため、経年比較が困難となった。このため、前年度と比較した観光動向を把握するため、便宜的に平成21年と22年の両年も継続して回答のあった観光地点等を対象に、延人数の単純集計で比較した。

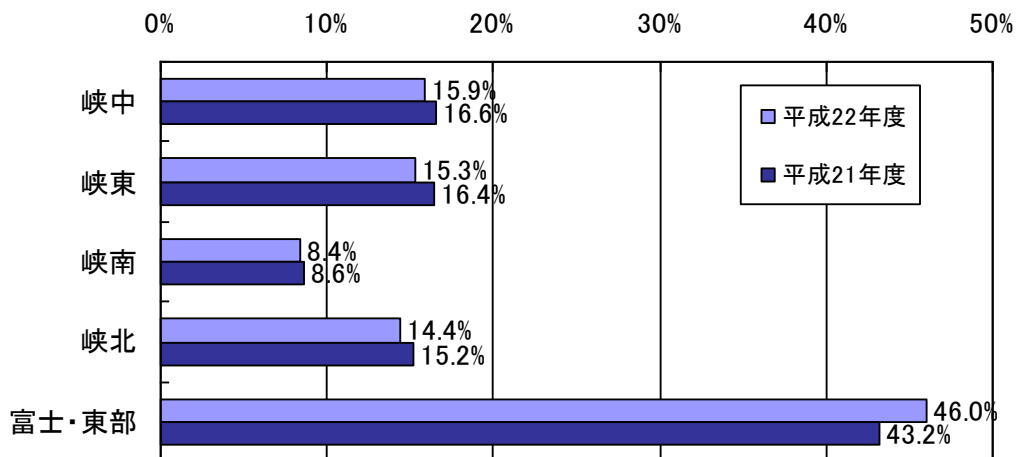
集計の結果、全体では前年度比99.3%の減少となった（図表12）。圏域別に見ると、富士・東部で対前年度比105.7%と増加した他は、各圏域で前年を下回っている。峡中が前年度比95.0%、峡東92.6%、峡南96.9%、峡北94.5%となっている。

平成22年度は、長引く経済不況に影響され、旅行や観光消費を抑える傾向が続いたほか、3月に発生した東日本大震災及び福島原発事故の影響により、年度末にかけて、国内外の観光が全面的に自粛状態となったことなどが影響し、前年より減少したと推測される。

図表12 観光入込客数の圏域別比較

項目	平成21年度		平成22年度		
	回答施設等 延人数	構成比	回答施設等 延人数	構成比	対21年度比
峡中	6,612,415	16.6%	6,279,463	15.9%	95.0%
峡東	6,536,645	16.4%	6,049,956	15.3%	92.6%
峡南	3,421,810	8.6%	3,314,455	8.4%	96.9%
峡北	6,044,148	15.2%	5,710,733	14.4%	94.5%
富士・東部	17,203,692	43.2%	18,187,654	46.0%	105.7%
合計	39,818,710	100.0%	39,542,261	100.0%	99.3%

※この観光入込数は有回答施設等を集計した参考数値であり、図表8の数値とは異なる



観光動向に関する参考データ

(2) 月別の観光動向

月別の観光の動向について概要をまとめた。対前年同月比は、便宜的に 21, 22 年度とも継続して回答があった観光地点等の単純集計により比較している。(図表 13)

■22年4月

4月の山梨県は、前線を伴った低気圧が日本付近を頻繁に通過したため曇りや雨の日が多く、日照時間がかなり少なかった。17日には季節はずれの降雪を観測した。

4月の観光入込客の対前年同月比は 97.3%と減少した。甲府市の信玄公祭りは天候に恵まれたこともあり大幅に人出が増加したが、前年に市内の寺院で行われたご開帳行事に多くの人出があったことの反動から全体では大きな減少となった。また、悪天候等で人出が減ったイベントがあり、また道の駅や買い物施設、神社等で客足が鈍った。

■5月

上・中旬の天気は、山梨県は移動性高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、下旬は寒気の影響で一時天気がぐずついた。

5月の対前年同月比は 107.7%と増加した。ゴールデンウィークが天候に恵まれ、絶好の行楽日和になったほか、長期休暇が取りやすい曜日の配列になっていたことから、観光客入込客数は前年よりも好調に推移した。また、前年には4月末からのインフルエンザ問題で観光入込客が落ち込む影響があったことから、その反動による前年比の増大も推測される。低迷していた公園、道の駅、神社等で大幅に客数が増えた。

■6月

上旬は移動性の高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、中旬以降周期的に変化した。また全国的に気温が上がり、北海道では年を通じての最高気温を更新したところもあった。

6月の対前年比は 101.2%と増加した。月末から高速道路無料化社会実験が開始されたため、それ以前の出控えが発生したものの、上旬の好天に誘われて、富士山五合目や富士五湖地域の道の駅などへの出足が大きく伸びた。一方、国中地域の温泉などで落ち込みが目立った。

■7月

上旬は梅雨前線が本州付近から本州の南に位置することが多く、曇りや雨の日が多かった。17日には梅雨明けし、その後は太平洋高気圧が日本付近で強まったため、日最高気温 35℃以上の猛暑日となる厳しい暑さが続いた。

7月の対前年同月比は 103.2%と増加した。暑い日が続いたものの不順な天候が続いた前年よりもかなり好調な出足であったと推測される。国中地域では暑さの影響が振るわなかった施設があるものの、富士五湖地域等で客数が伸びた。また、富士五湖地域では集客

観光動向に関する参考データ

力のあるイベントの開催日が7月に移ったことも大きく影響している。

■8月

月間を通して日本付近で太平洋高気圧の勢力が強く、東・西日本では、太平洋高気圧に覆われて各地で猛暑日となった。山梨県でも記録的な猛暑が続いた。

8月の対前年同月比は105.8%となった。企画展が人気を博した歴史文化施設などをのぞいて、7月同様、国中地域では客足が鈍ったが、富士五湖地域等の施設で前年より観光客が増えた。また、好天に恵まれた富士山は2005年の調査開始以来最多の32万人の登山者があったと環境省が発表するなど、「富士登山ブーム」が過去最高を記録した。

■9月

上旬を中心に猛暑日となるなど残暑が厳しかった。中旬以降天気は周期的に変わり、後半は曇りがちであった。8日には、尖閣諸島事件が勃発し、以降、中国人観光客の相次ぐキャンセルが報告されている。また、19日には「甲府鳥もつ煮」がB-1グランプリで優勝した。

9月の対前年同月比は92.9%と減少した。前半の猛暑や富士五湖地域での中国人観光客の減少などが影響し、やや不調に終わったほか、前年には長期のシルバーウィーク効果による大幅な観光入込客の増大があったため、本年はその反動による減少もあると推測される。前月、前々月に引き続いて国中地域での観光入込客が前年より少なかった。

■10月

上旬から中旬にかけては季節外れの暖かい空気に覆われて、気温が平年を大幅に上回った時期があった。週末に雨模様となるなど周期的に天気が変わり、特に下旬は曇りがちであった。中国では尖閣諸島問題に関する反日デモが続発した。

10月の対前年同月比は102.6%と増加した。不順な天候等により国中地域の大規模公園で入場者が減っているが、各地で開催される秋のイベントが好調に集客した。

■11月

天気は、概ね周期的に変化した。移動性高気圧が本州付近を通過することが多かったため晴れる日が多くなった。気温は平年並みまで下がった。

11月の対前年同月比は108.1%と増加した。紅葉シーズンの昇仙峡や歴史文化施設、スポーツレクリエーション施設などが人出で賑わった。甲府周辺では「甲府鳥もつ煮」をテーマにしたグルメ観光ツアーも登場し、にぎわった。峡東地域や八ヶ岳周辺ではやや低調となった施設がある一方で、富士五湖地域では客足を伸ばした施設が比較的多い。

■12月

天気は冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧が短い周期で通過した。12月としては暖

観光動向に関する参考データ

かい空気に覆われる日が多く、月平均気温がかなり高かった。県内の大きなニュースとしては、12月中旬、環境省のレッドリストで「絶滅」扱いになっている日本固有の魚クニマスが、西湖で生き残っていたことが分かった。

12月の対前年同月比は109.0%と好調だった。峡中地域の大規模公園や温泉、富士北麓のレクリエーション施設、公園、道の駅、峡南地域のゴルフ場など大きく客数を伸ばした施設がある。

■23年1月

全般に冬型の気圧配置となり晴れた日が多かったが、中旬には寒気や東日本を通過した低気圧の影響で雪が降り、16日には、甲府で初雪を観測した。しかし、日照時間は全ての観測所で平年よりかなり多くなった

1月の対前年同月比は96.3%となった。一部の公園や神社、歴史・文化施設等で客数が大きく伸びたが、国中地域の温泉で客数が落ちこむところが目立った。

■2月

高気圧と低気圧が次々に通過したため、天気は短い周期で変化した。特に、11日から12日にかけてと14日に前線を伴った低気圧が南海上を北東進した影響で大雪となった所があった。また下旬には低気圧や前線の影響で雨模様が続いた。

2月の対前年同月比は92.2%と客足が鈍った。峡中地域の行祭事が雨天の影響で客数が大きく落ち込んだほか、各地の主要な集客施設で客足が鈍ったところが多い。

■3月

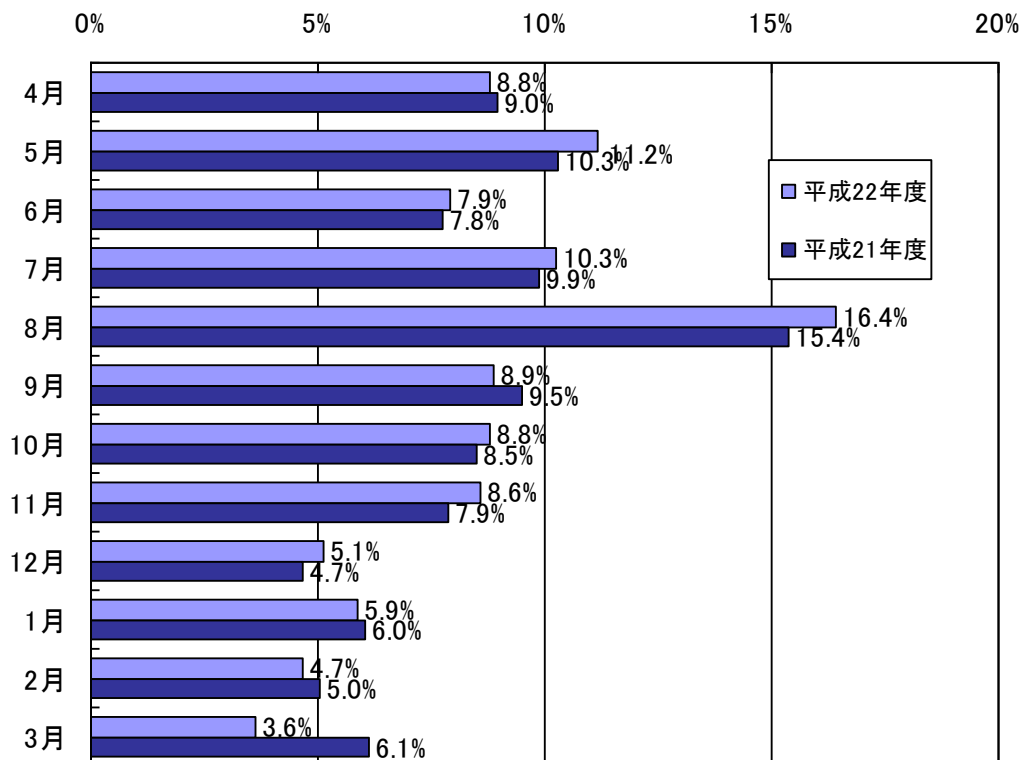
冬型の気圧配置になる日や移動性高気圧に覆われる日が多く、晴れの日が多かった。月降水量は、上旬と下旬に雨や雪が降ったが、月全体では平年よりかなり少なかった。また甲府は、29日にサクラの開花が観測された。

3月の対前年同月比は58.6%と激減した。11日に発生した東日本大震災及び福島原発事故の影響により、首都圏では計画停電が実施され、鉄道の一部運休やガソリンが高騰するなど国民生活への重大な影響が発生した。このため、行祭事・イベント等の開催が自粛され、国内外の観光旅行の動きがほとんど止まったことから、年度末にかけて、県内の観光にも深刻な影響が生じた。

観光動向に関する参考データ

図表 13 月別の観光動向（延人数単純集計）

項目	平成 21 年度		平成 22 年度		
	回答施設等 延人数	構成比	回答施設等 延人数	構成比	対 21 年度比
4 月	3,570,460	9.0%	3,473,912	8.8%	97.3%
5 月	4,104,098	10.3%	4,418,822	11.2%	107.7%
6 月	3,089,678	7.8%	3,127,887	7.9%	101.2%
7 月	3,928,327	9.9%	4,055,517	10.3%	103.2%
8 月	6,127,273	15.4%	6,485,591	16.4%	105.8%
9 月	3,779,975	9.5%	3,511,392	8.9%	92.9%
10 月	3,382,068	8.5%	3,468,739	8.8%	102.6%
11 月	3,133,840	7.9%	3,387,350	8.6%	108.1%
12 月	1,855,018	4.7%	2,022,038	5.1%	109.0%
1 月	2,408,587	6.0%	2,318,602	5.9%	96.3%
2 月	2,001,030	5.0%	1,844,724	4.7%	92.2%
3 月	2,438,359	6.1%	1,427,686	3.6%	58.6%
期間合計	39,818,710	100.0%	39,542,261	100.0%	99.3%

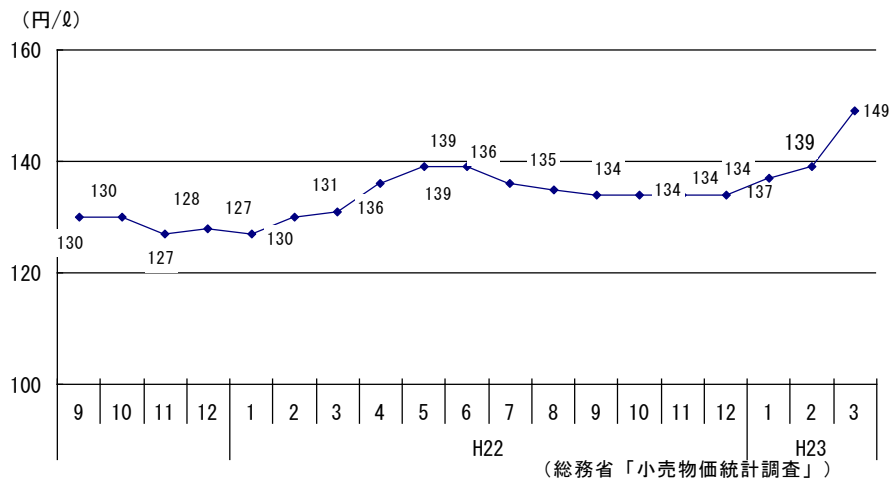


観光動向に関する参考データ

(3) ガソリン価格や交通機関の動向

ガソリン価格は5,6月にやや上昇したものの年末までは比較的安定して推移した。しかし、23年の年明けより値上がりに転じた。特に3月の東日本大震災を契機に、精油所の被災などにより国内の需給がひっ迫し、急激な高騰となった。3月中旬以降は、震災によるイベント自粛の動きが全国に広がる中で、ガソリンの高騰に加えて、東京電力の計画停電に伴い、首都圏の鉄道各社は路線の一部で運休したり、運行本数を減らすなどの対応策をとったため、観光分野での人の動きは壊滅的な影響を受けた。(図表 14)

図表 14 ガソリン小売価格の推移



観光動向に関する参考データ

(4) 圏域別観光の動向

① 峡中圏域

圏域の観光動向を見るために、21, 22 年の両年とも回答があった施設や行祭事・イベントの延人数で比較した（図表 15）。

峡中圏域の対前年度比は 95.0%となった。小圏域別に見ると、「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、一部ゴルフ場で観光入込客数が伸びたが、釣り堀などで大きく減少したところがある。

「芸術の森・武田神社周辺」では歴史文化施設、スポーツ・レクリエーション、都市型観光施設等の大型施設で入込みが落ちた。猛暑日が続いた夏などが影響していると思われる。また、天候に恵まれた信玄公祭りで大きな人出があった。

「広河原・芦安温泉周辺」では、一部の温泉で利用者が増加した。

「楡形山・果実郷周辺」では、サクランボ狩りや温泉施設が低迷したものの、都市型観光施設が好調で、地域全体でも前年より入込が増加した。

「釜無川沿岸」では、温泉、スポーツ・レクリエーション施設等で客数が減少した。また、天候に恵まれなかったイベントでも人出が大きく減った。全体でも前年より不調に終わったと考えられる。

「風土記の丘周辺」の客数は、前年「直売所甲子園」で日本一に輝いた道の駅施設が、引き続き好調に集客数を獲得している。

図表 15 峡中圏域 回答施設等延人数

小圏域名	H22 年度	H21 年度	対前年度比
昇仙峡・湯村温泉周辺	457,482	449,239	101.8%
芸術の森・武田神社周辺	3,400,273	3,620,296	93.9%
広河原・芦安温泉周辺	15,518	13,781	112.6%
楡形山・果実郷周辺	500,991	520,456	96.3%
釜無川沿岸	1,294,012	1,355,582	95.5%
風土記の丘周辺	611,187	653,061	93.6%
小計	6,279,463	6,612,415	95.0%

観光動向に関する参考データ

② 峡東圏域

峡東圏域の対前年度比は92.6%となった(図表16)。小圏域別に見ると、「大菩薩・恵林寺周辺」では、恵林寺周辺の主要なスポット及びその他の施設でも観光入込客数の減少が目立っており、地域全体では低迷した。

「勝沼ぶどう郷周辺」の客数は、ぶどう狩り客を始め、ワイナリーや農産物加工体験施設などで客数が減少しているところが多い。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」では、万力公園や農産物直売所では客数が増えたものの、温泉、道の駅、歴史文化施設等で減少が目立っている。

「石和温泉・果実郷周辺」では、歴史文化施設やワイナリーなどで客数が増加したが、地域全体では減少した施設が多かった。

図表 16 峡東圏域 回答施設等延人数

小圏域名	H22 年度	H21 年度	対前年度比
大菩薩・恵林寺周辺	702,889	797,918	88.1%
勝沼ぶどう郷周辺	1,384,517	1,432,058	96.7%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	2,077,665	2,233,505	93.0%
石和温泉・果実郷周辺	1,884,885	2,073,164	90.9%
小計	6,049,956	6,536,645	92.6%

③ 峡南圏域

峡南圏域の対前年度比は96.9%となった(図表17)。小圏域別に見ると、「身延山・下部温泉周辺」の観光入込客数は、一大集客スポットである歴史・文化施設で、昨年の大型行事に多くの参加者が訪れた反動のためか、本年度は入込客が大きく落ちこみ、地域全体でも客数は減少した。

「早川周辺」では、山菜まつりが多くの人出で賑わったが、温泉客の減少が大きかった。

「峡南北部」の客数は、地域最大のイベントである神明の花火や人気のある温泉施設で増加した。また地域内のゴルフ場で、人気選手の来場により大きく客数を伸ばしたところがあり、全体では前年度並みとなった。

「峡南南部」の客数は、道の駅や温泉施設などの観光施設で入込が低迷した。

観光動向に関する参考データ

図表 17 峡南圏域 回答施設等延人数

小圏域名	H22 年度	H21 年度	対前年度比
身延山・下部温泉周辺	1,889,860	1,980,399	95.4%
早川周辺	4,754	6,593	72.1%
峡南北部	1,100,508	1,100,651	100.0%
峡南南部	319,333	334,167	95.6%
小計	3,314,455	3,421,810	96.9%

④峡北圏域

峡北圏域の対前年度比は、94.5%となった（図表 18）。小圏域別に見ると、「八ヶ岳高原周辺」の観光入込客は、大規模な買い物施設で客数が減少した。公園、美術館、温泉など各種施設で低迷したところが多い。

「金峰・みずがき周辺」の客数は、地産地消型の複合施設や自然体験型公園など客数が減少したところが多い。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」の客数については、道の駅や温泉客の減少が大きい。公園やイベント等でも客足は鈍ったと見られる。

「茅ヶ岳周辺」の客数は、エリア内で最も集客力があるひまわり関連のイベントが多く、多くの観光客を集めた。

図表 18 峡北圏域 回答施設等延人数

小圏域名	H22 年度	H21 年度	対前年度比
八ヶ岳高原周辺	3,657,008	3,954,242	92.5%
金峰・みずがき周辺	178,089	190,436	93.5%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,578,754	1,574,255	100.3%
茅ヶ岳周辺	296,882	325,215	91.3%
小計	5,710,733	6,044,148	94.5%

観光動向に関する参考データ

⑤富士・東部圏域

富士・東部圏域の対前年度比は105.7%となった(図表19)。なかでも「富士山五合目」は、富士登山ブームを反映して登山者やスバルライン利用者が大幅に増加した。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」の観光入込客数は、夏場の涼を求める客等で入込みは好調だった。道の駅では大幅に客数が増加した。そのほか富士吉田の歴史文化施設などでも入込みは好調であった。しかし、一大集客施設であるレクリエーションスポットでは、若干、入場者数が減少した。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」では、花をテーマにした大型イベントが引き続き人気を博した。その他、道の駅や風穴などでも客数が増えた。リゾート施設でやや低迷したところもあるが、全体として入込みは好調だった。

「山中湖・忍野周辺」の客数は、イベント、公園で客数が伸びた。一部温泉施設等ではやや低迷し、地域全体では伸び悩んだ。

「大月・北都留」では、大月の登山客や道の駅で好調だったものの、ゴルフ場や温泉で客数が減少したところが多い。

図表19 富士・東部圏域 回答施設等延人数

小圏域名	H22 年度	H21 年度	対前年度比
富士山五合目	3,938,382	3,265,041	120.6%
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	7,197,478	6,906,345	104.2%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	3,111,570	2,929,188	106.2%
山中湖・忍野周辺	1,381,186	1,419,379	97.3%
大月・北都留	989,925	1,053,685	93.9%
桂川・道志川周辺	1,569,113	1,630,055	96.3%
小計	18,187,654	17,203,692	105.7%

第2部 観光地点等パラメータ調査による分析

1. 調査の概要

県内を訪れた観光入込客に対して、平成22年度の春・夏・秋・冬のシーズンごとに県内各地の観光地点において対面聞き取り式によりアンケート調査を実施した。調査結果を集計するとともに、性別・年齢階層別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、以下のカテゴリーに分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、東部・富士北麓地域それぞれ2カ所ずつ調査地点を定め、県下10カ所で調査を実施した。

- ① 自然
- ② 歴史・文化
- ③ 温泉・健康
- ④ スポーツ・レクリエーション
- ⑤ 都市型観光
- ⑥ その他

春 : 平成22年5月23日(日)
 夏 : 平成22年8月7日(土)
 秋 : 平成22年11月3日(水・文化の日)
 冬 : 平成23年2月13日(日)

(2) 調査地点、サンプル数

観光地点分類	圏域	春	夏	秋	冬	計
歴史・文化	峡中	71	76	76	80	303
歴史・文化	峡中	76	79	76	75	306
歴史・文化	峡東	76	75	75	71	297
都市型観光	峡東	80	75	75	75	305
歴史・文化	峡南	42	80	80	81	283
温泉・健康	峡南	75	75	75	76	301
都市型観光	峡北	101	102	104	104	411
その他	峡北	80	78	75	76	309
スポーツ・レクリエーション	東部・富士北麓	81	101	101	99	382
スポーツ・レクリエーション	東部・富士北麓	62	75	76		213
自然	東部・富士北麓				79	79
合 計		744	816	813	816	3189

※東部・富士北麓では平成23年1月1日、調査地点を変更

(3) 本報告書の計算値について

アンケート結果の数値は端数処理により、項目の合計が100%にならない場合がある。

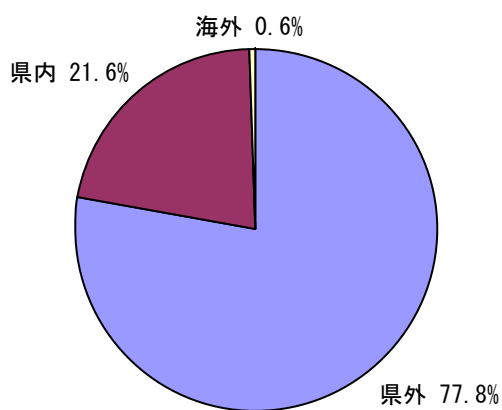
2. 観光客の特性、動態状況の分析

観光客アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と、分類別の観光客の特徴を分析した。

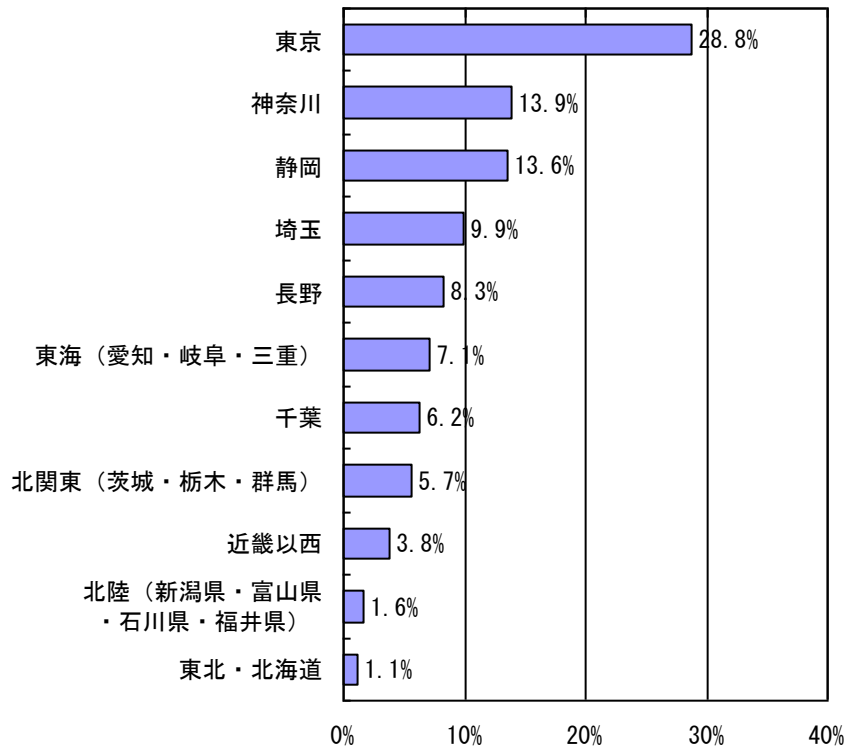
(1) 本県観光客の全体像

①居住地

観光客の居住地は、「県内」が21.6%、「県外」が77.8%、「海外」が0.6%である。



また、外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京都28.8%、神奈川県13.9%、静岡県13.6%、埼玉県9.9%、長野県8.3%と、隣接する都県からの来訪者が多い。

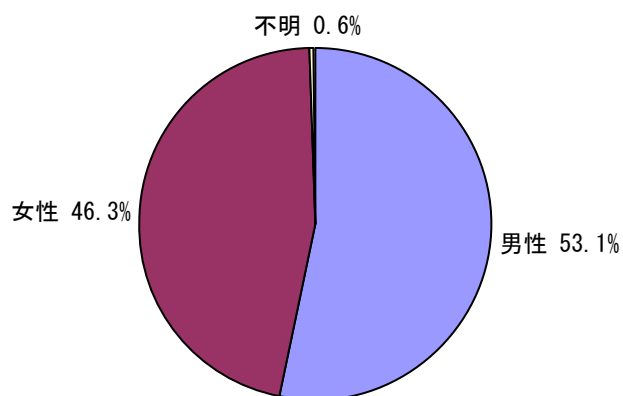


n=2448

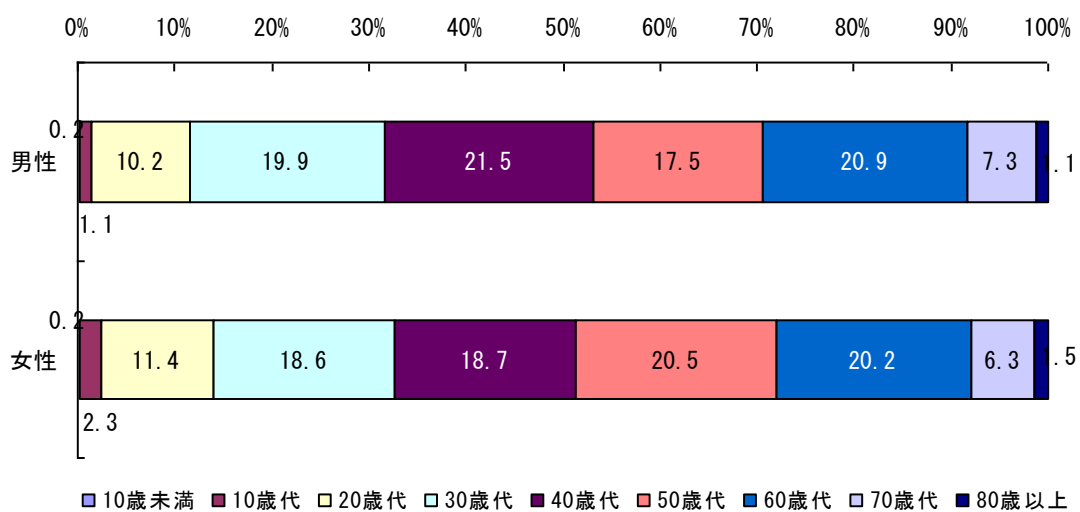
※外国人及び不明の者を除く

②性別・年代

アンケート回答者のうち、男性は53.1%、女性は46.3%である。



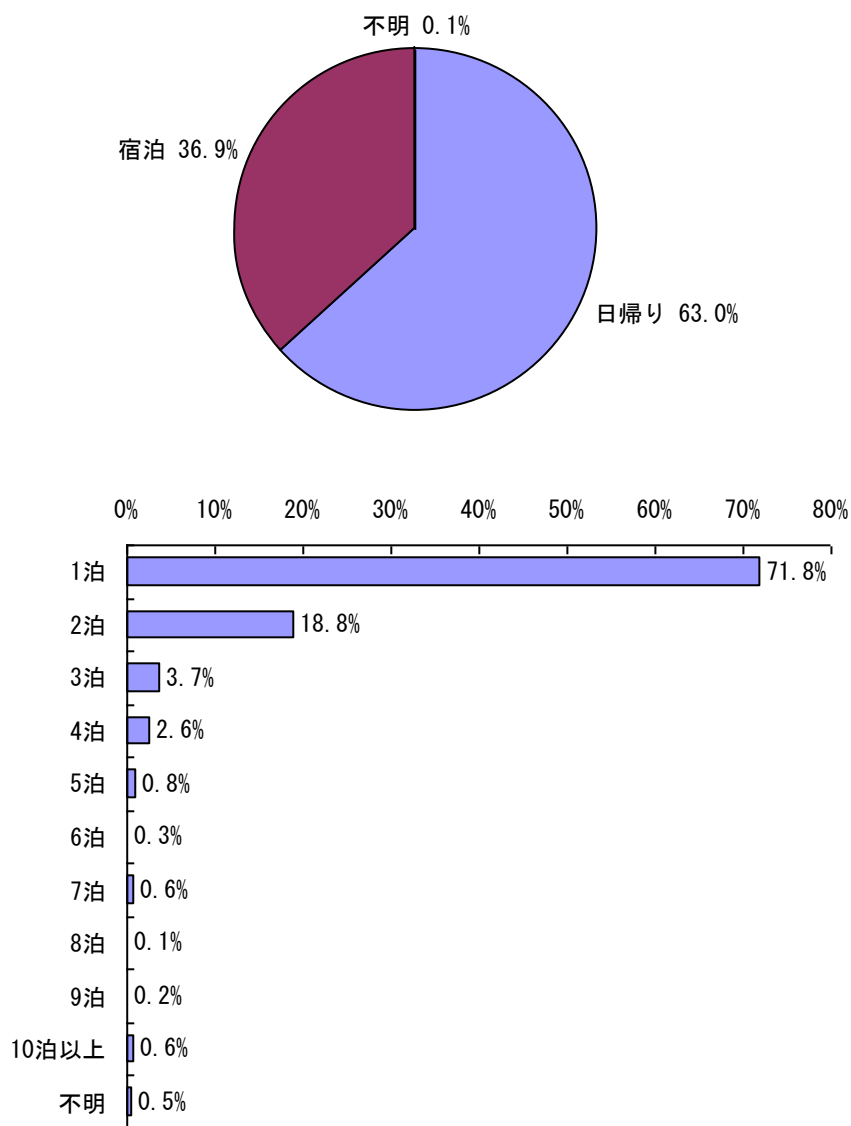
年齢層をみると、男女とも「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」が20%前後で均衡している。男性では「40歳代」が21.5%で、女性では「50歳代」が20.5%で最も多くを占めている。



※不明の者を除く

③滞在状況（日帰り・宿泊）

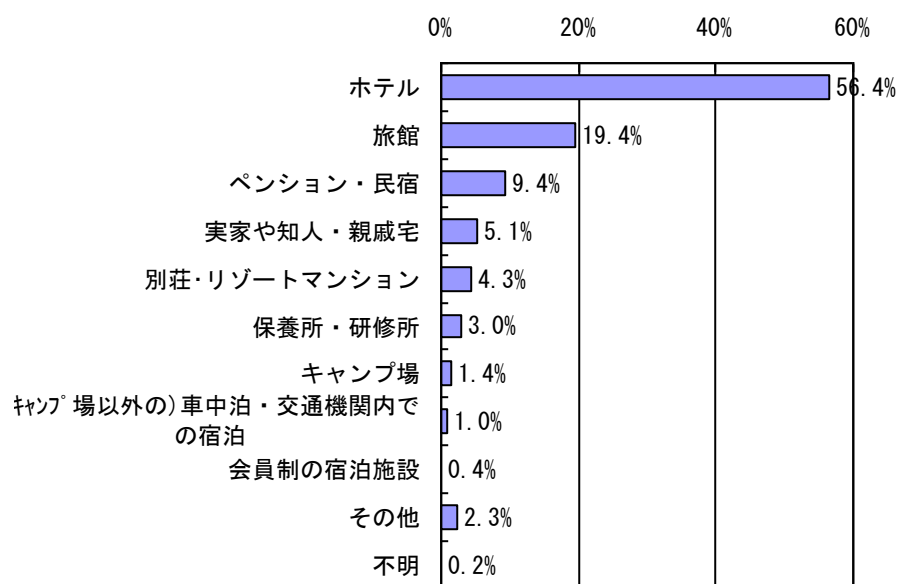
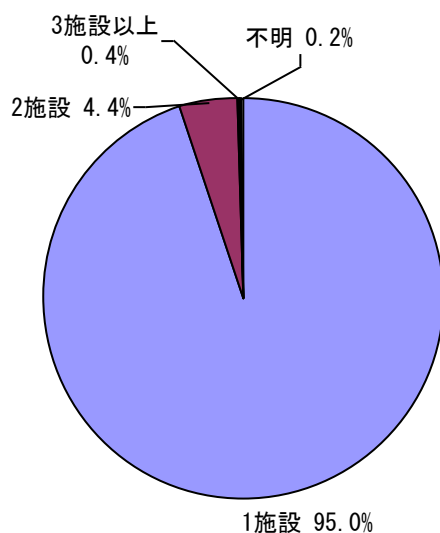
滞在状況は、「日帰り」が63.0%を占める。「宿泊」は、36.9%であった。
宿泊日数は、「1泊」が71.8%と大部分を占めている。長期滞在者が少ない現状にある。



④ 宿泊施設

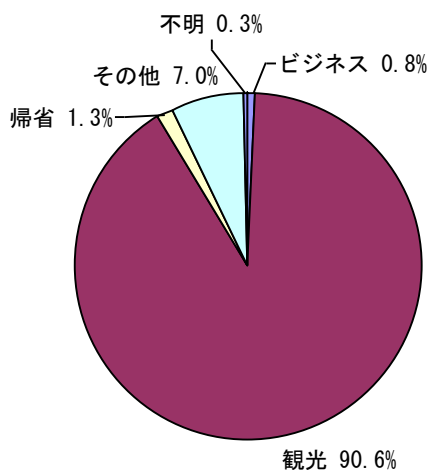
県内宿泊者のうち、宿泊した施設数は「1施設」が95.0%と、大部分を占める。前項の回答から宿泊者は短期滞在が大部分であることと対応する。

宿泊施設の種類は、「ホテル」が56.4%と過半数を占める。次いで、「旅館」19.4%、「ペンション・民宿」9.4%、「実家や知人・親戚宅」5.1%等の順となっている。

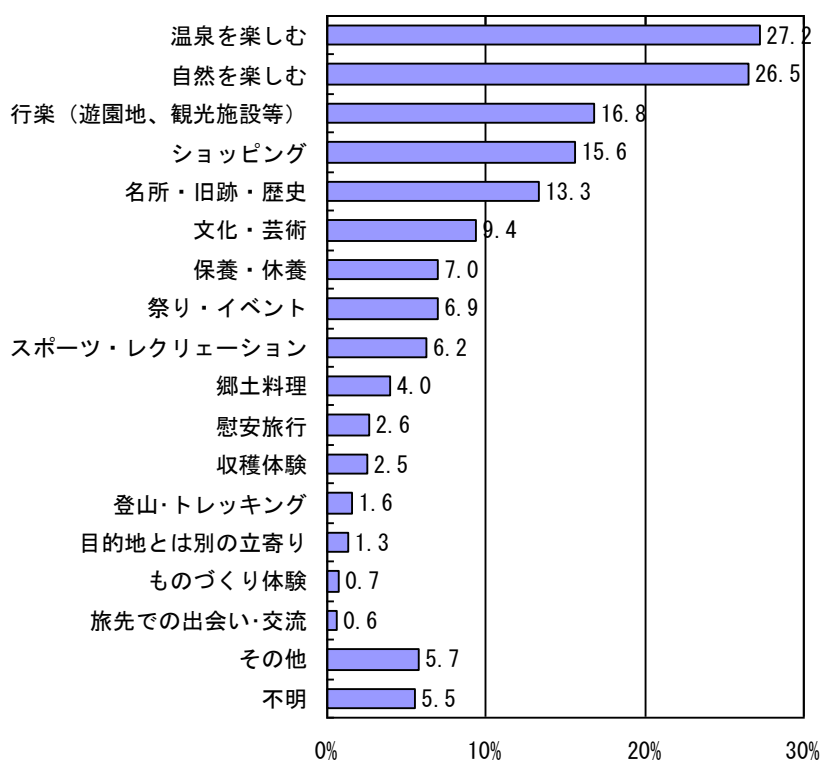


⑤旅行の主な目的

旅行の主な目的は、「観光」が 90.6%を占める。「その他」(7.0%)の内容は「神社仏閣の参拝」などである。

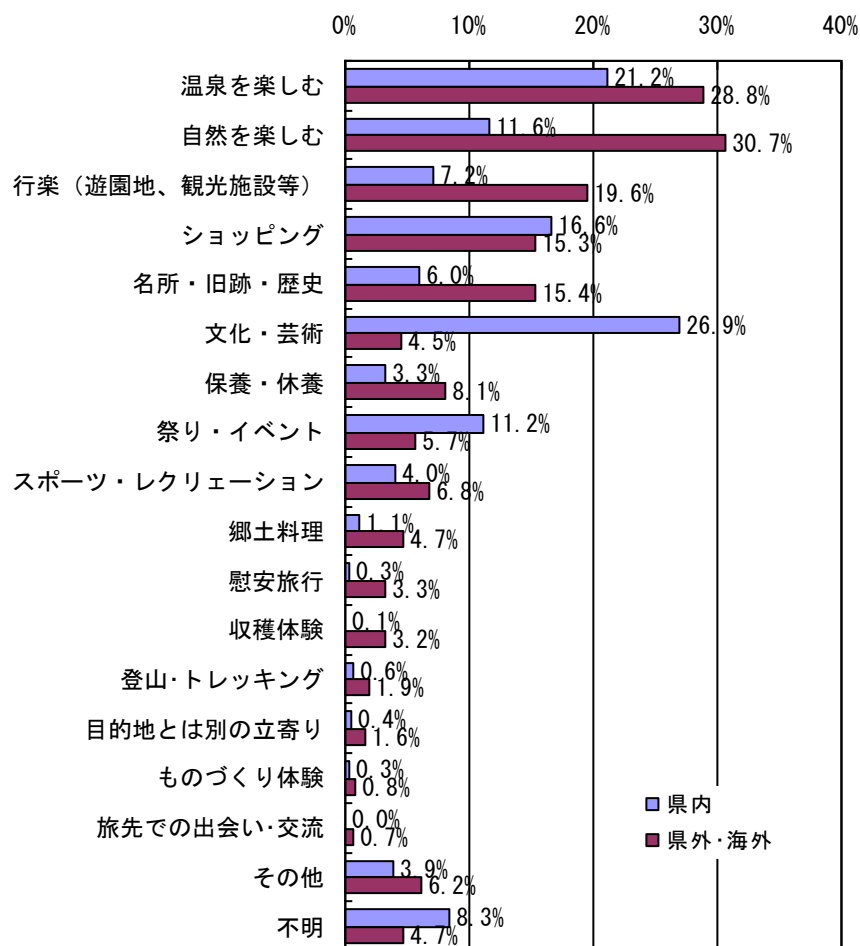


観光旅行に限ってその目的をみると、「温泉を楽しむ」が 27.2%と最も多く、次いで「自然を楽しむ」26.5%、「行楽（遊園地、観光施設等）」16.8%などとなっている。



* 複数回答

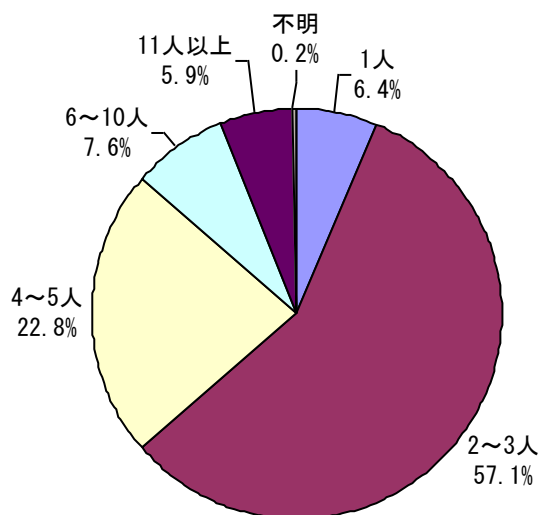
観光旅行の目的を居住地別にみると、県外客では「自然を楽しむ」が30.7%と最も多く、次いで、「温泉を楽しむ」28.8%、「行楽（遊園地、観光施設等）」19.6%などの順となっている。一方、県内客では「文化・芸術」が26.9%で最も多く、「温泉を楽しむ」（21.2%）が続いている。



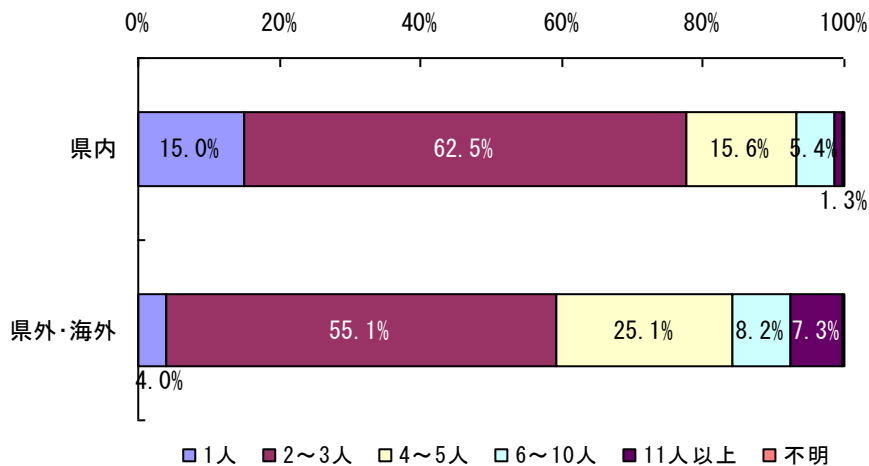
* 複数回答

⑥同行者

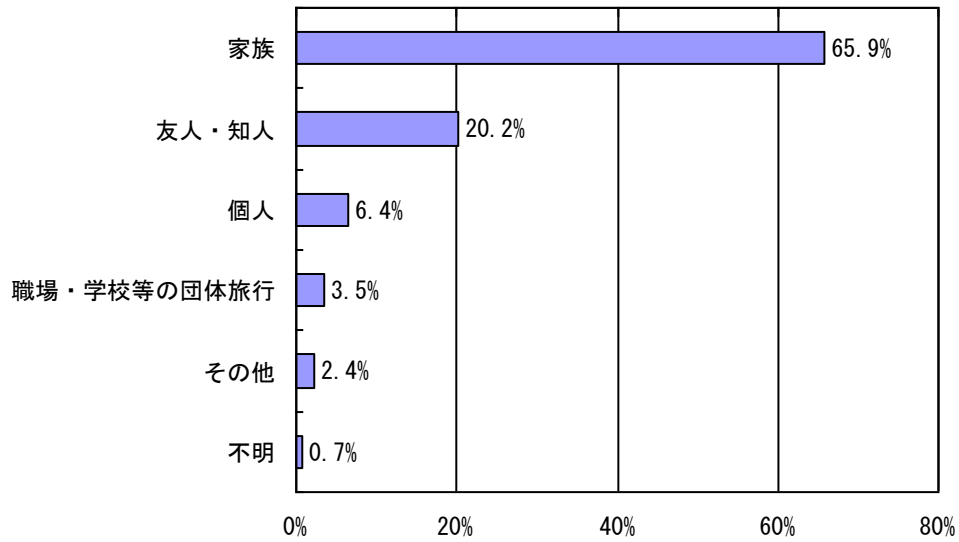
同行人数は、「2～3人」が57.1%と最も多く、次いで「4～5人」が22.8%などとなっており、5人以下の少人数のグループによる旅行がおよそ8割を占めている。



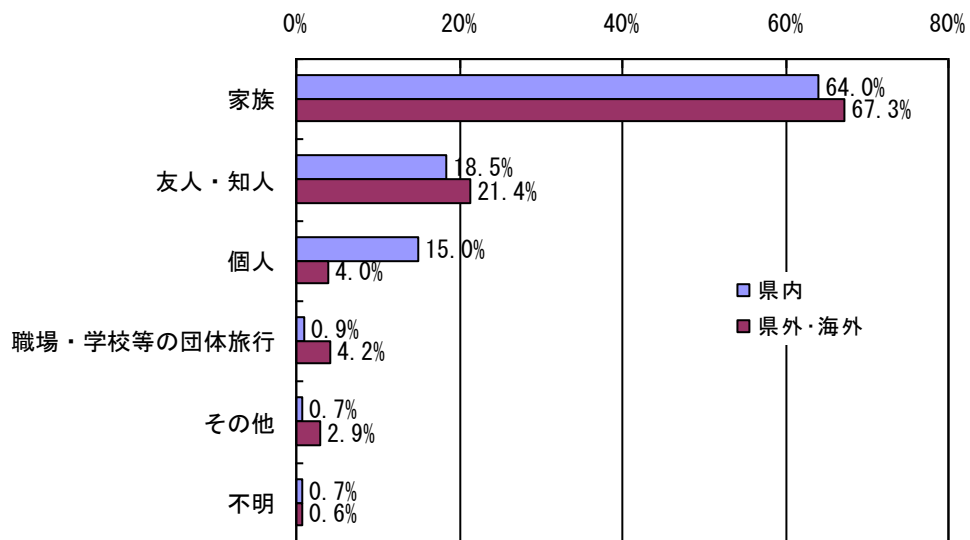
また、居住地別の旅行人数では、2～3人程度のグループが多い傾向は変わらないものの、県内客に比べ県外・海外客では4人以上のグループの割合が高くなっている。



同行者は「家族」が65.9%で最も多く、次いで「友人・知人」(20.2%)などとなっている。

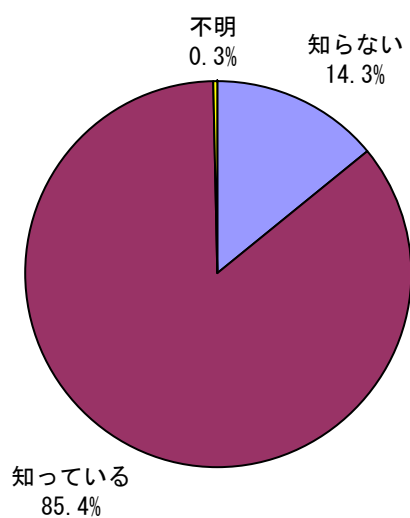


居住地別にみても、「家族」がともに6割を超え、「友人・知人」が2割前後と同様の傾向である。

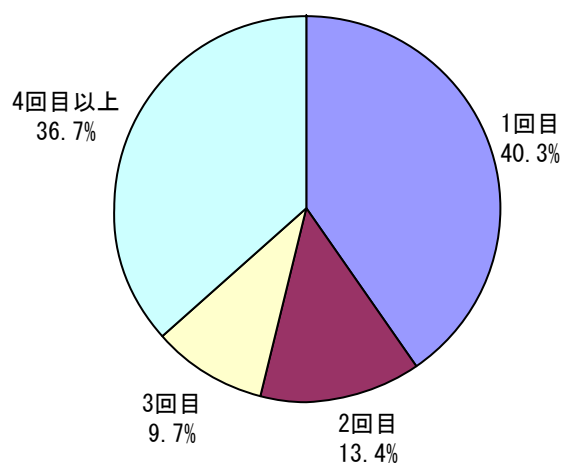


⑦訪問回数（同行者含む）

回答者が同行者の今いる観光地への訪問回数を知っているかどうかについては、「知っている」が85.4%、「知らない」が14.3%となっている。



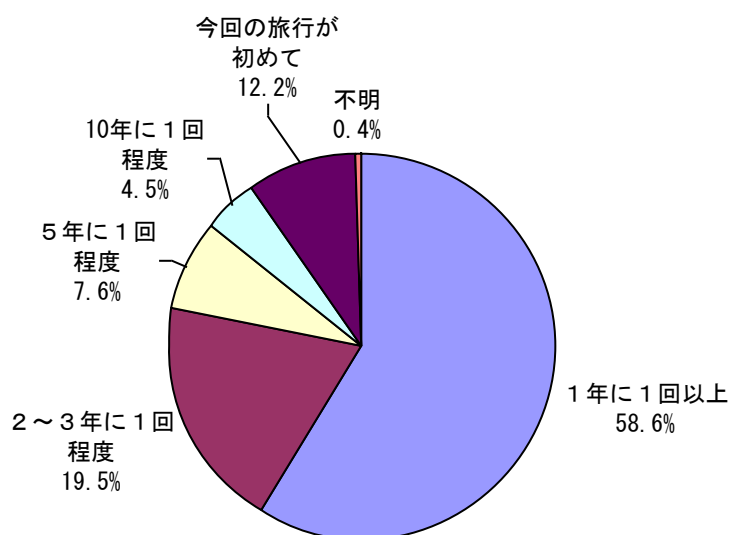
また、「知っている」と回答した人と同行者も含めた今いる観光地への訪問回数では、「1回目」（40.3%）と「4回目以上」（36.7%）がほぼ同程度の割合となっている。



⑧ 県外客の山梨への訪問頻度

山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が58.6%で最も多く、次いで「2～3年に1回程度」19.5%、「今回初めて」12.2%と続いている。

ほぼ前年同様の傾向で近県からのリピーター客が多いことがうかがえる。

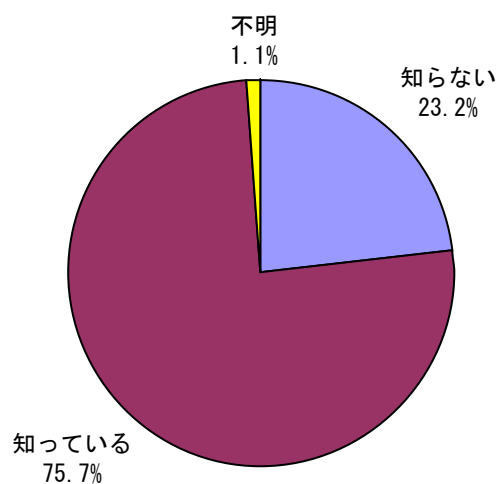


n=2461

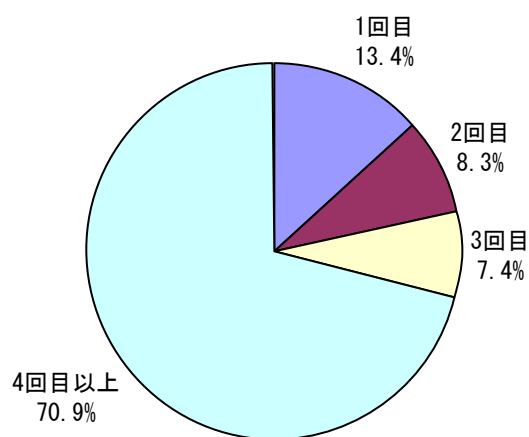
※県外在住者のみで集計、外国人及び不明の者を除く

⑨同行者の本県への訪問回数

回答者が同行者の山梨県への訪問回数を知っているかどうかについては、「知っている」が、75.7%、「知らない」が23.2%となっている。



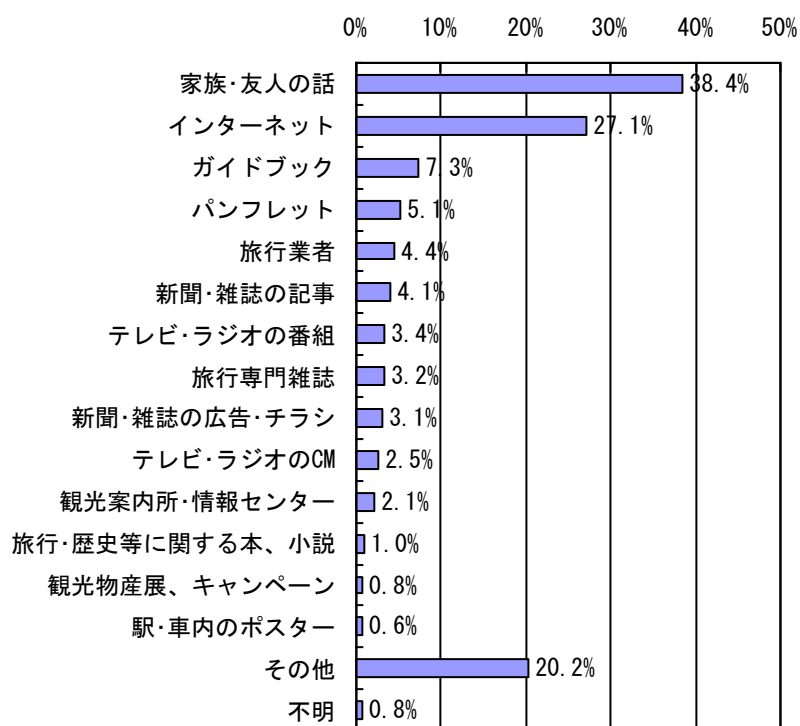
また、「知っている」と回答した人と同行者も含めた山梨県への訪問回数では、「4回目以上」のリピーターが70.9%と最も多く、次いで「1回目」(13.4%)となっている。



⑩旅行計画の参考資料

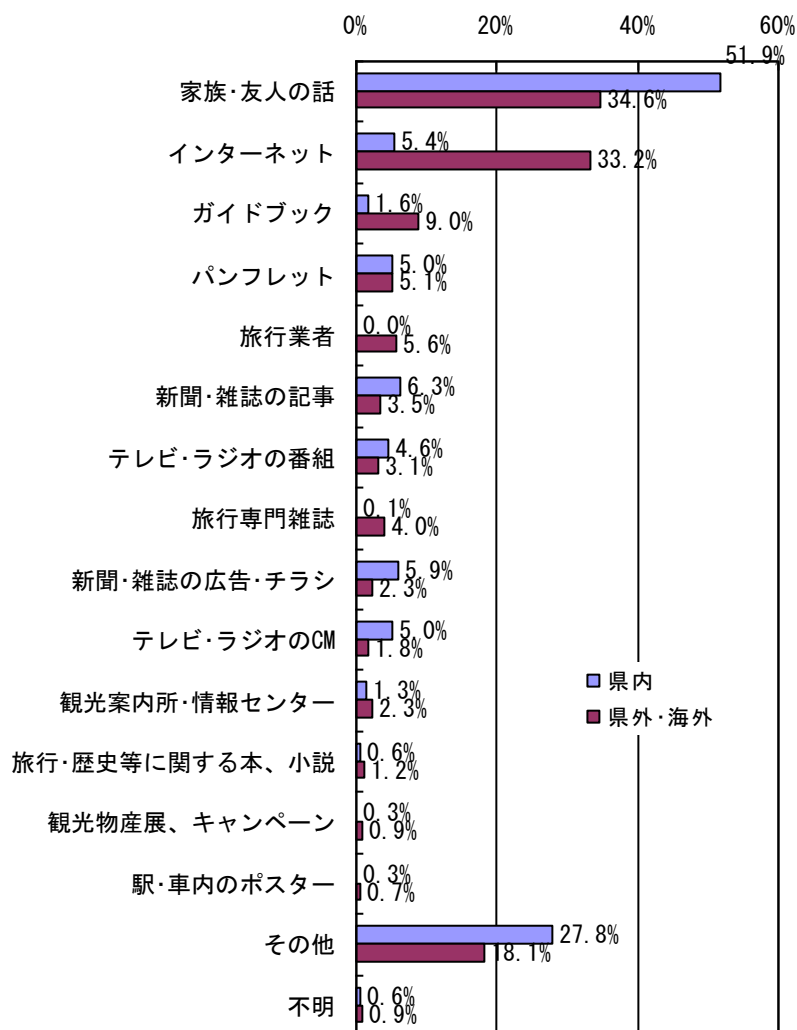
観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が38.4%で最も多く、次いで「インターネット」27.1%、「ガイドブック」7.3%などと続いている。

その他が20.2%と多くなっているが、これは回答者が訪問地を以前から知っていたり、リピーターであったりするケースが多い。



* 複数回答

旅行計画の参考資料を居住地別にみると、「家族・友人の話」が最も多い点は変わらないが、県外・海外客では「インターネット」の割合が33.2%と他のメディアを大幅に上回っている。比較的割合が高い「ガイドブック」でも9.0%であり、マスメディアとされる新聞・テレビ・ラジオでは3%台である。県外観光誘致のための媒体としてインターネットによる情報発信が重要であることを示すとともに、旅行計画の参考になるよう情報編集することが求められていると推測される。

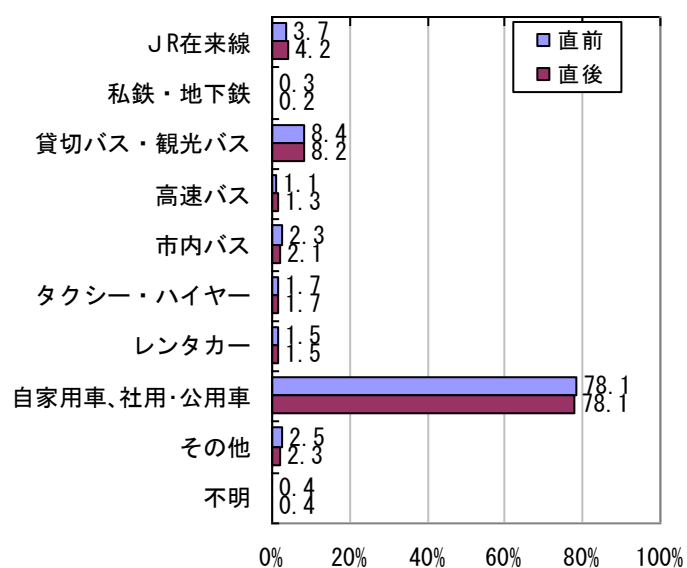


* 複数回答

①観光客の交通手段

訪問地へ来る直前とその直後で利用する交通機関については、全ての調査地点合計で「マイカー」が圧倒的に多く8割近くを占める。次いで「貸切バス・観光バス」が立ち寄り直前8.4%、直後8.2%、「JR在来線」が直前3.7%、直後4.2%となっている。

立ち寄り直前・直後の交通手段（全体）



⑫県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「団体ツアー客」と「団体ツアー以外の個人・団体旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

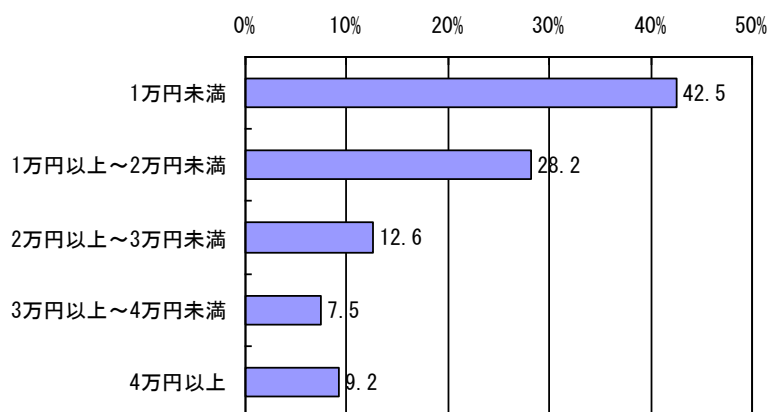
また、ツアー以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県内からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の4つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

1) 団体ツアー

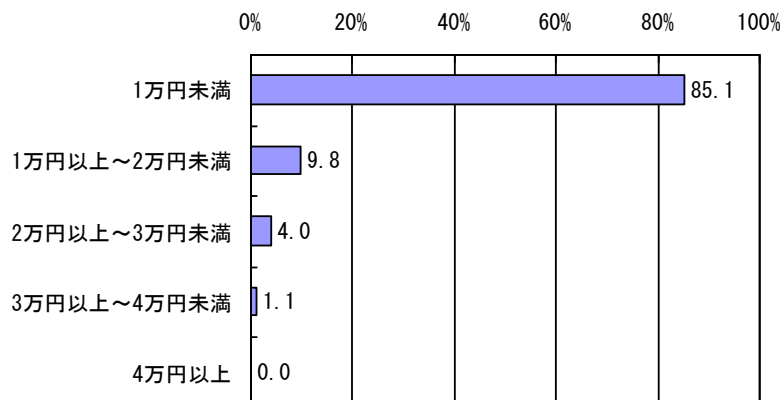
ツアー料金は「1万円未満」が42.5%と最も多く、次いで、「1万円以上～2万円未満」が28.2%となっている。ツアー料金の平均額は23,840円であった。

ツアー料金以外の消費額では、「1万円未満」が79.3%と最も多く、次いで、「1万円以上～2万円未満」が16.7%となっている。

ツアー料金



ツアー料金以外の支出



2) 団体ツアー以外の個人・団体旅行

属性（県内・県外及び宿泊・日帰り）別の一人当たり平均観光消費額は、「県外からの宿泊客」が23,234円、「県外からの日帰り客」が7,543円、「県内からの日帰り客」が3,922円となった。「県内からの宿泊客」の20,153円はサンプル数が少ない（n=15）ため、参考値となる。

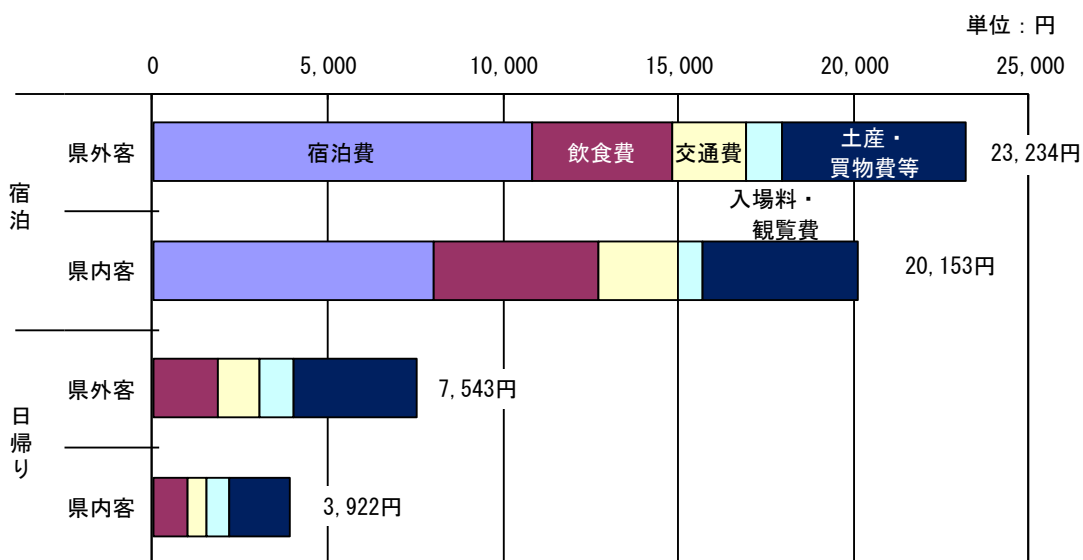
また全体の平均消費額は、12,677円であった。

属性		宿泊費	飲食費	交通費	入場料・観覧費	土産・買物費等	合計	交通費（県外分）
宿泊	県外客	10,816	4,013	2,098	1,038	5,269	23,234	3,976
	県内客	8,033	4,680	2,307	667	4,467	20,153	2,567
		10,751	4,017	2,105	1,032	5,245	23,150	3,949
日帰り	県外客	0	1,882	1,165	970	3,526	7,543	1,371
	県内客	0	1,009	518	651	1,744	3,922	8
		0	1,558	928	851	2,866	6,203	889
全体		4,108	2,498	1,377	920	3,774	12,677	2,058

※宿泊及び日帰りの合計並びに全体平均は、加重平均により算出しているため、単純平均額とは異なる。また、サンプル数の少ない海外客（n=6）を含めて算出している。

※山梨県外での移動等で必要となった費用である交通費（県外分）については、合計には含まず、外数で示した。なお、県内客であっても一度県外に出るような旅行をしている場合には、交通費（県外分）が発生する。

※端数処理により、各項目の数値と合計が一致しない場合がある。



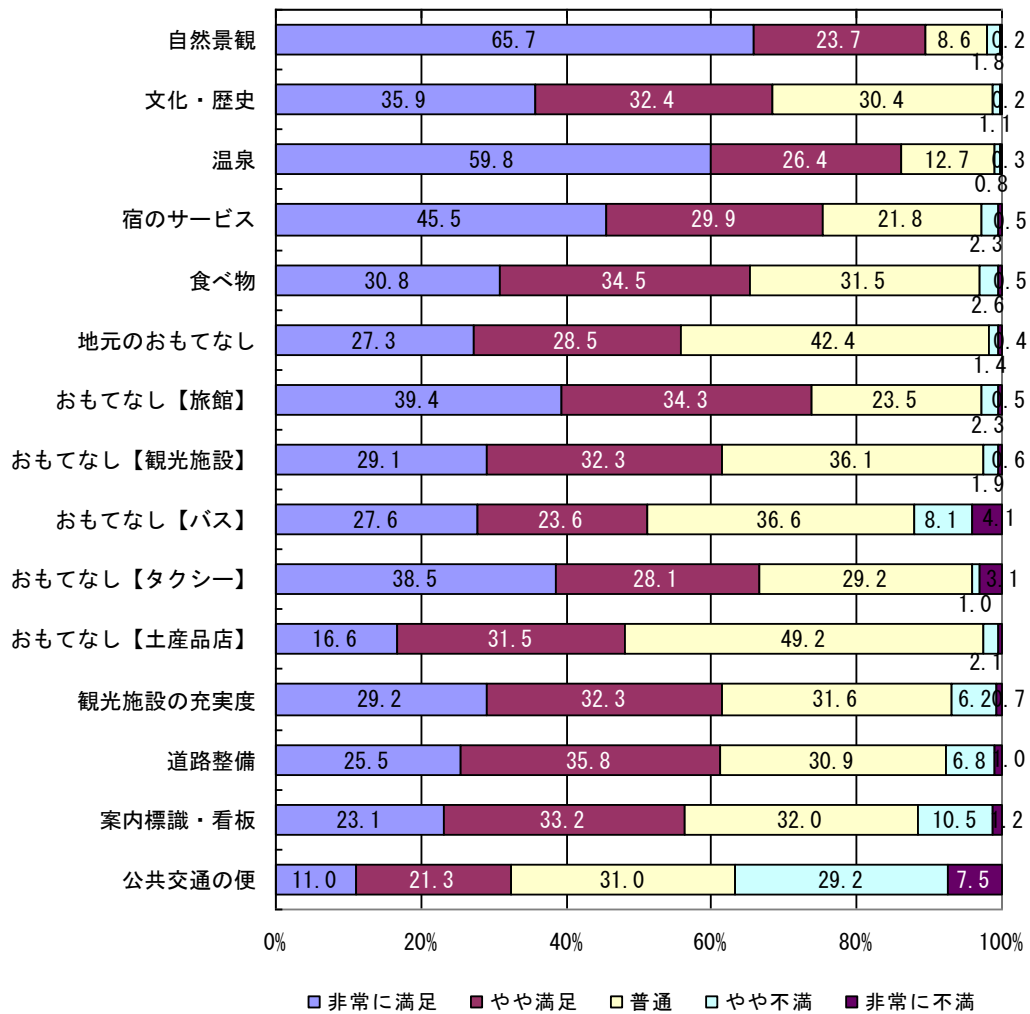
⑬観光客の満足度

今回の旅行において、観光客が『満足』と答えた割合（「わからない」及び「不明」を除いた回答者のうち、「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは「自然景観」の89.4%で、次いで「温泉」86.2%、「宿のサービス」75.4%が続いている。

逆に、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは、「公共交通の便」36.7%、「案内標識・看板」10.5%、「地元のおもてなし【バス】」8.1%などの順となった。

	満足			普通	不満		
		非常に満足	やや満足		やや不満	非常に不満	
自然景観	89.4%	65.7%	23.7%	8.6%	2.0%	1.8%	0.2%
文化・歴史	68.3%	35.9%	32.4%	30.4%	1.3%	1.1%	0.2%
温泉	86.2%	59.8%	26.4%	12.7%	1.0%	0.8%	0.3%
宿のサービス	75.4%	45.5%	29.9%	21.8%	2.8%	2.3%	0.5%
食べ物	65.4%	30.8%	34.5%	31.5%	3.2%	2.6%	0.5%
地元のおもてなし	55.8%	27.3%	28.5%	42.4%	1.8%	1.4%	0.4%
【旅館】	73.7%	39.4%	34.3%	23.5%	2.8%	2.3%	0.5%
【観光施設】	61.5%	29.1%	32.3%	36.1%	2.5%	1.9%	0.6%
【バス】	51.2%	27.6%	23.6%	36.6%	12.2%	8.1%	4.1%
【タクシー】	66.7%	38.5%	28.1%	29.2%	4.2%	1.0%	3.1%
【土産品店】	48.2%	16.6%	31.5%	49.2%	2.6%	2.1%	0.5%
観光施設の充実度	61.5%	29.2%	32.3%	31.6%	6.9%	6.2%	0.7%
道路整備	61.3%	25.5%	35.8%	30.9%	7.8%	6.8%	1.0%
案内標識・看板	56.3%	23.1%	33.2%	32.0%	11.7%	10.5%	1.2%
公共交通の便	32.3%	11.0%	21.3%	31.0%	36.7%	29.2%	7.5%

※「わからない」及び不明を除く



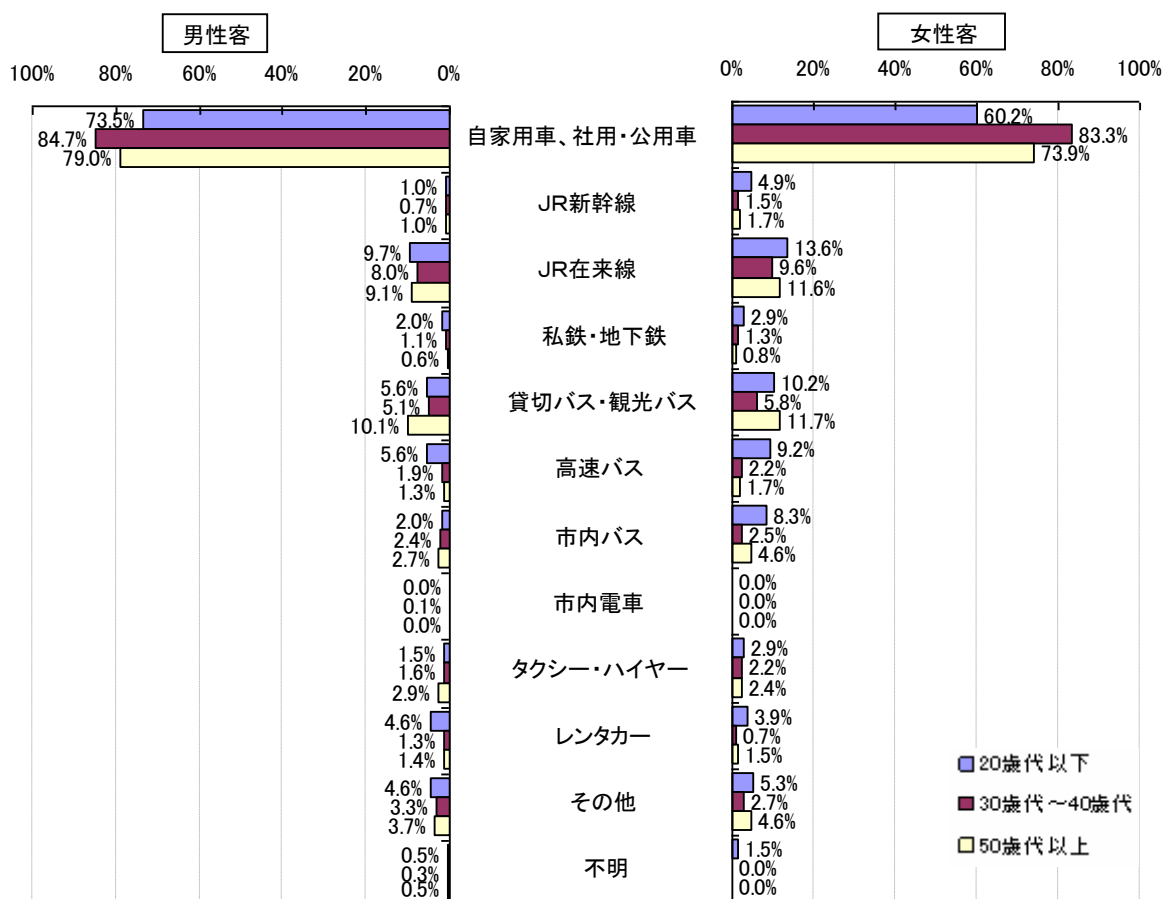
(2) 属性（性別・年代）別の観光客の特徴

アンケート回答者の属性（性別及び年代）別に特徴を把握するため、次の項目についてクロス集計の手法により分析を行った。

- ①観光客の交通手段
- ②観光客の旅行目的
- ③旅行計画の参考資料
- ④宿泊の有無

①観光客の交通手段

交通手段は、性別・年代を問わず「自家用車、社用・公用車」が最も多く、男女ともファミリー世代層の30～40歳代では8割以上に達する。「貸切バス・観光バス」の利用は、男女とも50歳代以上で1割程度を占めている。



②観光客の旅行目的

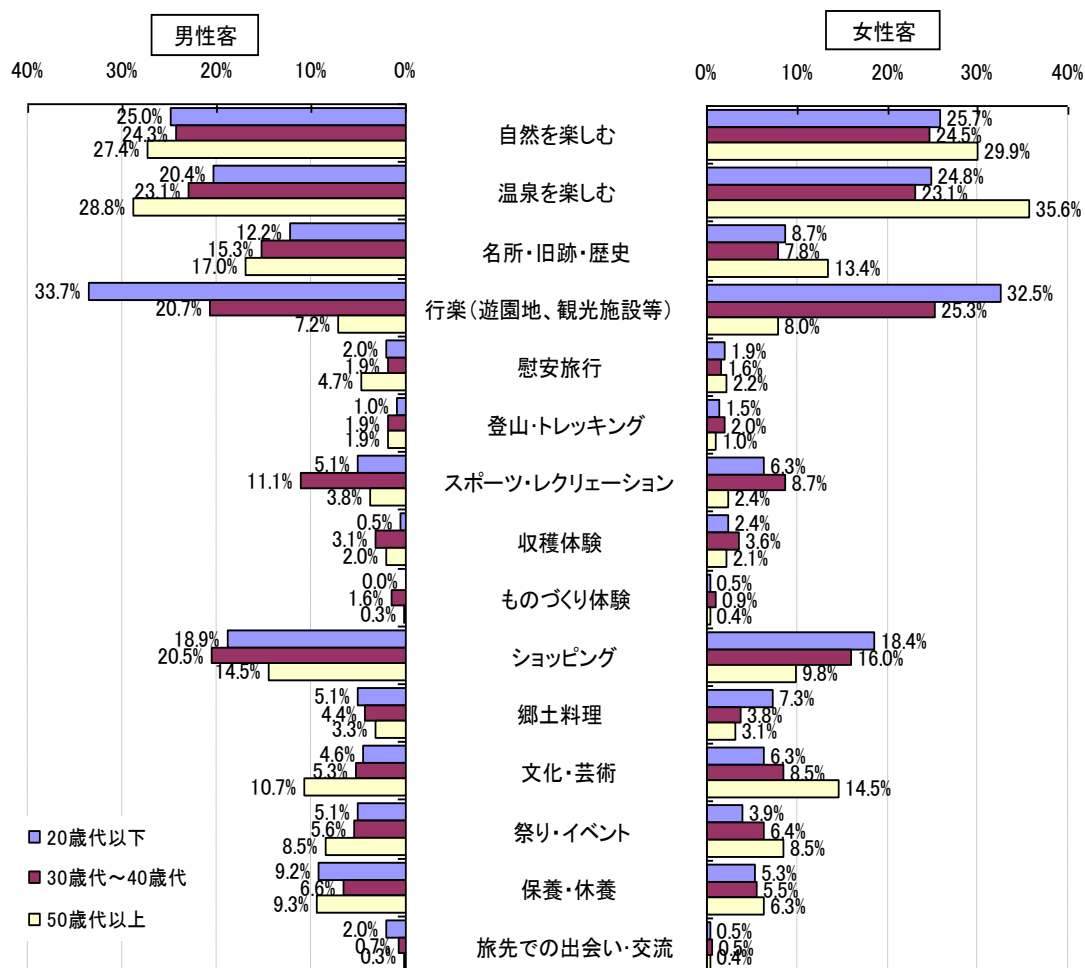
性別、年代別の旅行目的では、年代による違いが見られる。

50歳代以上では「温泉を楽しむ」「自然を楽しむ」が他の項目より突出して多く、癒し系の旅行目的となっている。特に女性では「温泉を楽しむ」が35.8%と、3人に一人以上の割合となっている。この傾向は他の世代でも強く表れている。

一方、30～40歳代のファミリー世代層では「行楽（遊園、観光施設）」が「自然・温泉を楽しむ」と同じ高い水準で並んでいる。

「ショッピング」も比較的高いが、女性では年代が上がるにつれて低くなる傾向が見て取れる。

20歳代以下では男女ともに「行楽（遊園、観光施設）」で、男性34.4%、女性33.3%となっている。



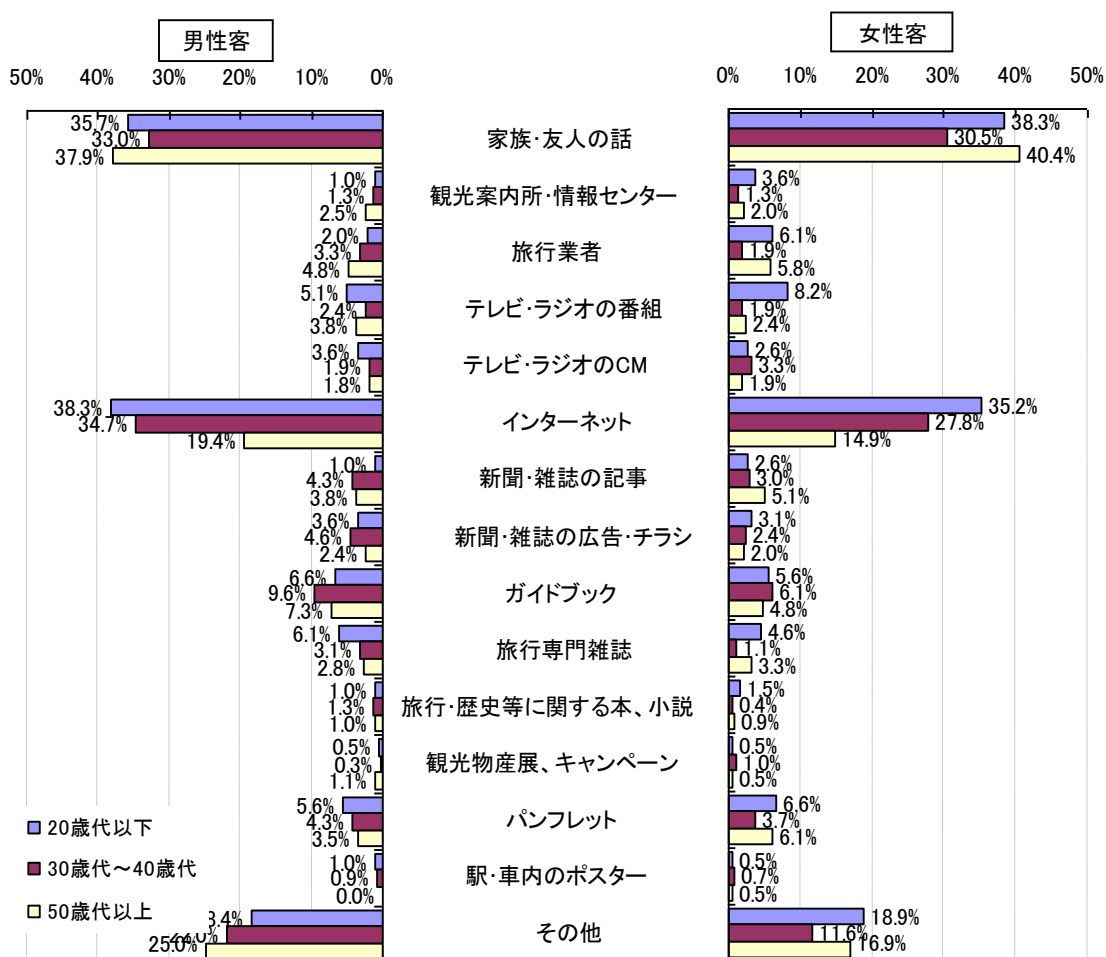
*複数回答

③旅行計画の参考資料

旅行の際に参考にする資料は、20歳代以下・30歳代～40歳代男性で「インターネット」がトップを占めたほかは各年代・性別とも「家族・友人の話」が最も多くなっている。

「家族・友人の話」、いわゆる口コミが重要な媒体となっているのは、本県の県外観光入込客のおよそ8割がリピーターで占められていることが影響していると思われる。

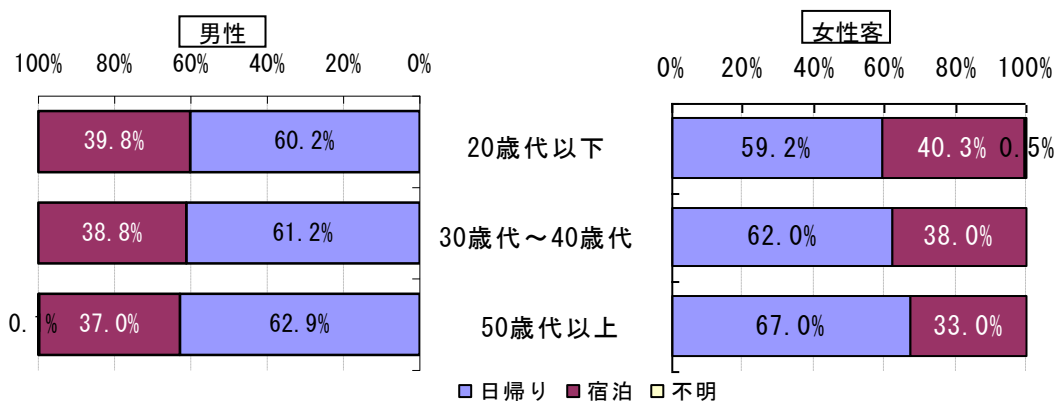
インターネットに関しては、50歳代以上を除く全世代の男女で、「家族・友人の話」に拮抗しており、その差はわずかである。しかし、50歳代でも男性19.4%、女性14.9%がインターネットを参考にしており、新聞・テレビ・ラジオや旅行専門雑誌、ガイドブックなどを大きく上回っている。



*複数回答

④宿泊の有無

属性別に旅行形態（宿泊か日帰りか）を分析すると、全世代の男女で「日帰り」がほぼ6割以上を占めている。男性客では年代間の差異があまり見られないのに対し、女性では、「50歳代以上」で日帰りの割合が他の年代より若干高くなっている。



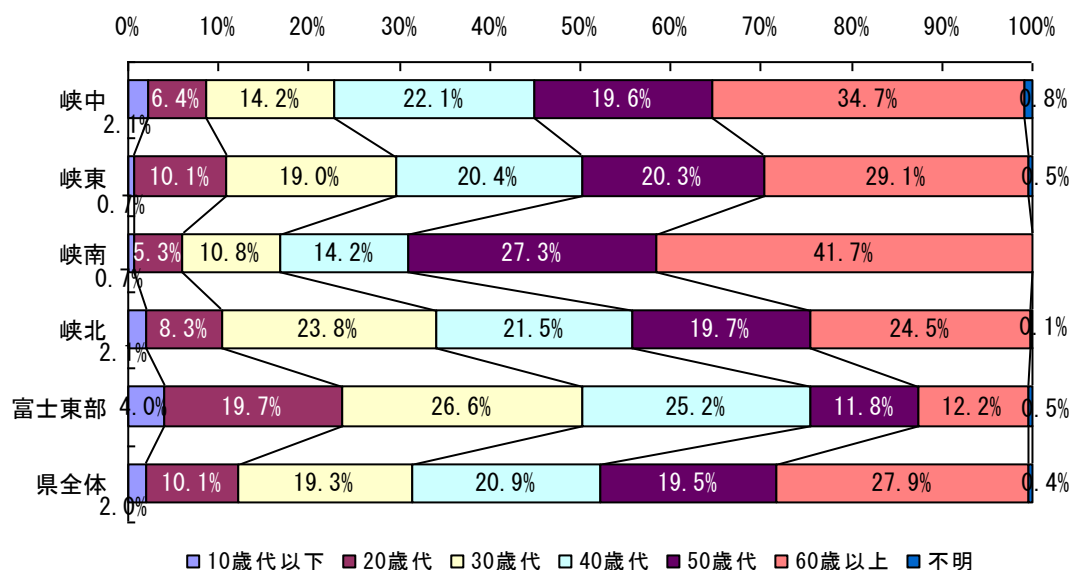
(3) 圏域別の観光客の特徴

圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- ①アンケート回答者の属性
- ②観光客の同行人数
- ③観光客のグループ形態
- ④宿泊の有無
- ⑤観光客の満足度

①アンケート回答者の属性

圏域別の年代構成をみると、「峡南」で50歳代以上がおよそ69.0%に達し、他の圏域よりも高齢者の割合が高くなっている。一方、「富士・東部」では40歳代以下が75.5%を占め、対照的である。地域ごとの観光資源の違いがこのような結果に現れていると考えられる。

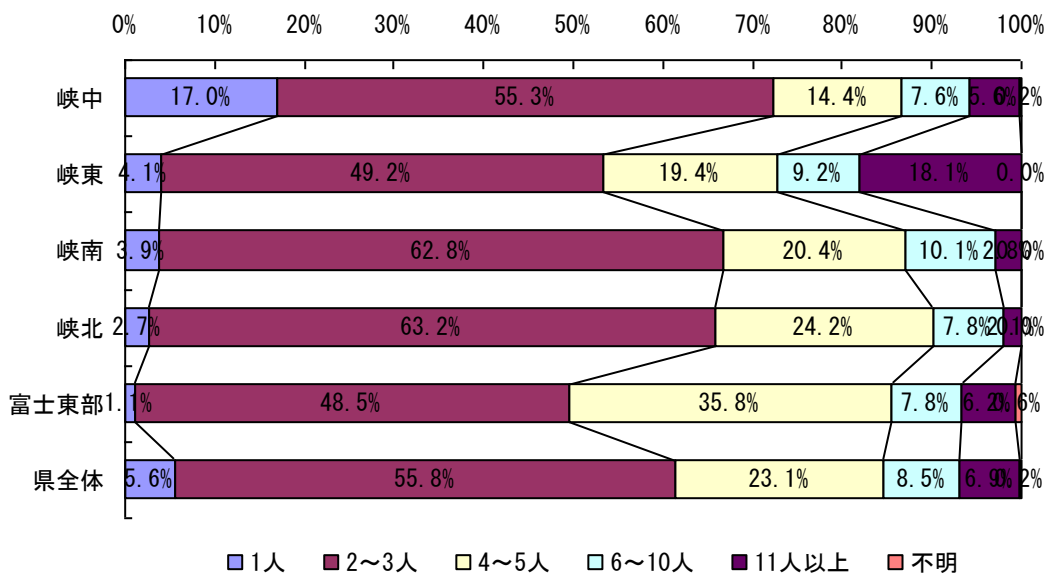


②観光客の同行人数

圏域別に旅行者の同行者数を比較すると、いずれの圏域においても「2～3人」の割合がほぼ50～60%台と半数以上を占めている。「富士・東部」、「峡北」では、4人以上の割合が県平均の23.4%に比べて高くなっている。峡東では11人以上の割合も高いが、これは、調査地点を観光バスツアー等を利用して訪れる人が多いという傾向を反映していると推測される。

このほか、「1人」が「峡中」で17.0%で高い。これも調査地点の一つが美術館であることと無関係ではないと推測される。

	峡中	峡東	峡南	峡北	富士東部	県全体
1人	17.0%	4.1%	3.9%	2.7%	1.1%	5.6%
2～3人	55.3%	49.2%	62.8%	63.2%	48.5%	55.8%
4～5人	14.4%	19.4%	20.4%	24.2%	35.8%	23.1%
6～10人	7.6%	9.2%	10.1%	7.8%	7.8%	8.5%
11人以上	5.6%	18.1%	2.8%	2.1%	6.2%	6.9%
不明	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

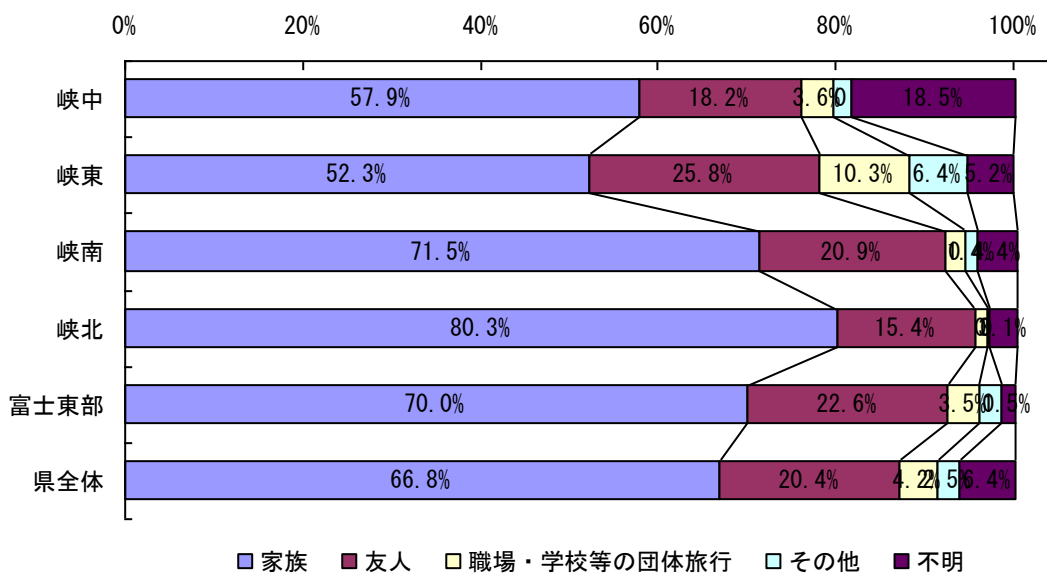


③観光客のグループ形態

圏域別のグループ形態では、いずれの圏域も「家族」での旅行が最も多く、特に「峡北」では80.3%と高い割合となっている。

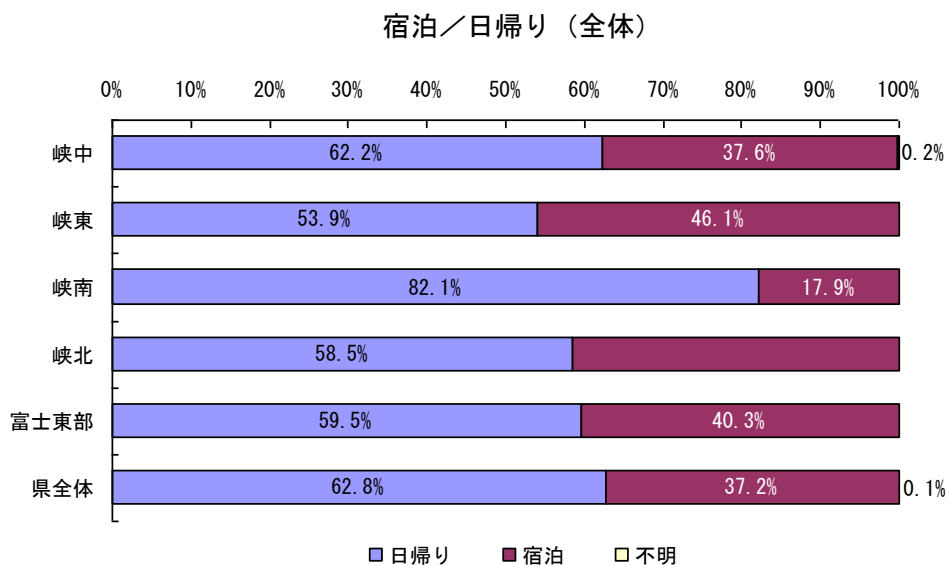
「峡東」では、「家族」が他圏域に比べて低くなっている代わりに、「友人」(25.8%)や「職場・学校等の団体旅行」(10.3%)が多い。県内最大の温泉郷が立地することや団体旅行を受け入れる都市型観光施設が多いことなどによると推測される。

	家族	友人	職場・学校等の団体旅行	その他	不明	回答者数
峡中	57.9%	18.2%	3.6%	0	18.5%	606
峡東	52.3%	25.8%	10.3%	6.4%	5.2%	612
峡南	71.5%	20.9%	0	1.4%	4.4%	564
峡北	80.3%	15.4%	0	0	3.1%	715
富士東部	70.0%	22.6%	3.5%	0	1.5%	650
県全体	66.8%	20.4%	4.2%	2.5%	6.4%	3,147

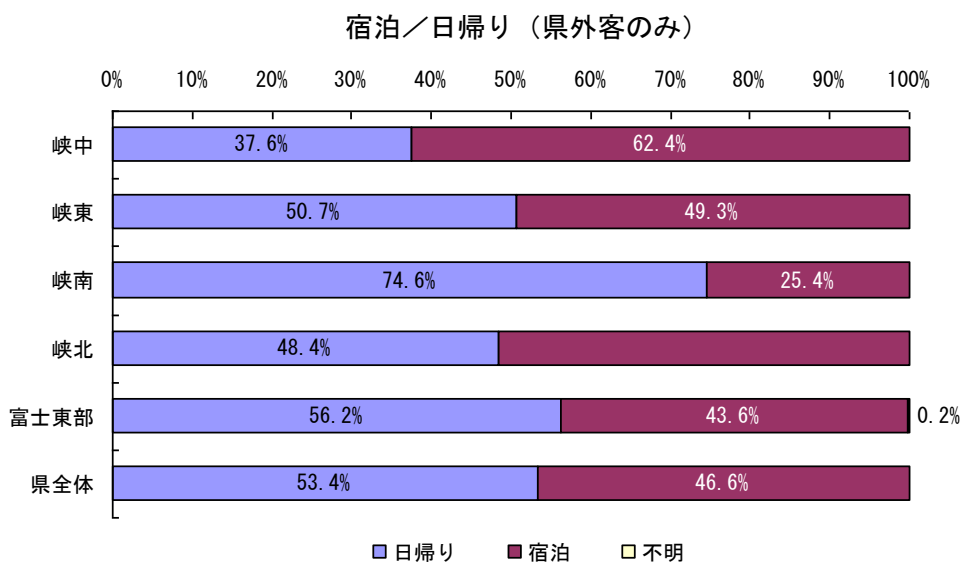


④ 宿泊の有無

圏域別に旅行形態（宿泊か日帰りか）をみると、「峡南」で「日帰り」の割合が82.1%に上り、他圏域に比べ高くなっている。調査地の一つが県内客もよく利用する日帰り温泉施設であることが影響していると考えられる。「峡東」では、「宿泊」の割合が46.1%で他圏域に比べ比較的高くなっている。



県外からの観光客に限ってみると、「峡中」で「宿泊」の割合が62.4%と過半数を占めている。全体では日帰り客が過半数を占めるものの、宿泊客も46.6%あり、県外から訪れる観光客の相当数が宿泊旅行の中で本県を訪れている様子が見られる。



⑤観光客の満足度

観光の分野別の満足度（満足＋やや満足）を、圏域別に比較した（ただし、「わからない」及び「不明」の回答は除く）。

◆峡中

自然景観に対する満足度が 90.4%と非常に高い。また、美術館や武田氏ゆかりの史跡などが多いこともあり、「文化・歴史」に対する満足度が 86.4%と県全体に比べて高くなっている。「地元のおもてなし」のうちの「バス」及び「公共交通の便」の満足度が比較的低い。

◆峡東

温泉に対する満足度が 85.2%と高い。次いで自然景観の 81.3%が続いている。文化・歴史の満足度が 62.4%とやや低くなっている。他の圏域に比べて「地元のおもてなし」のうちの「タクシー」について「非常に満足」と答えた人の割合が 53.1%と高くなっているのが特徴的である。

◆峡南

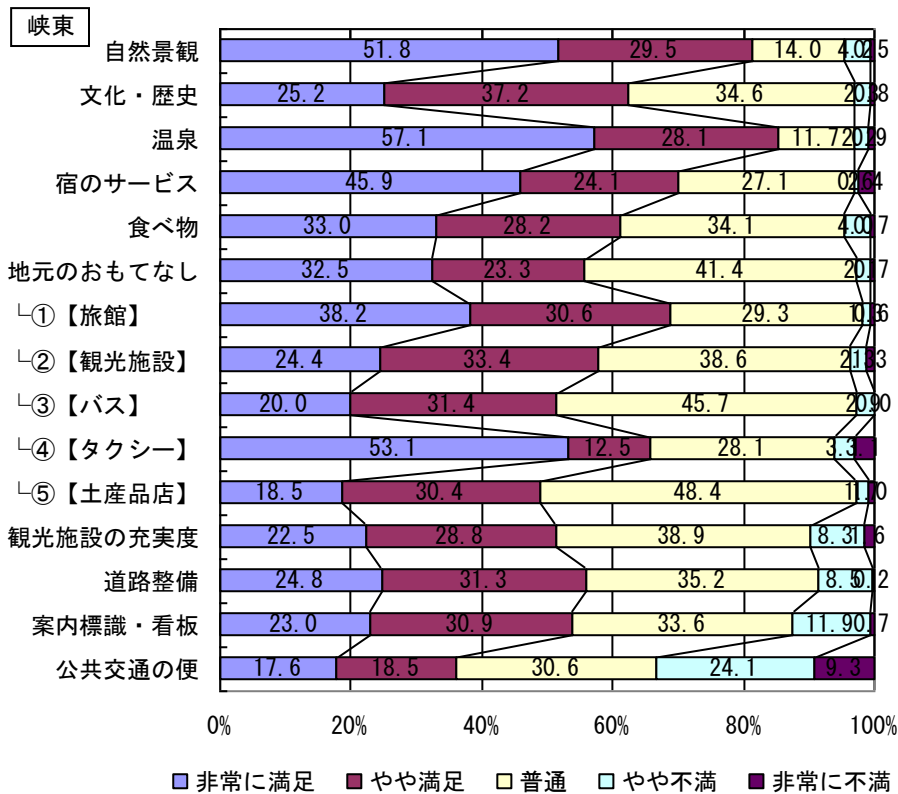
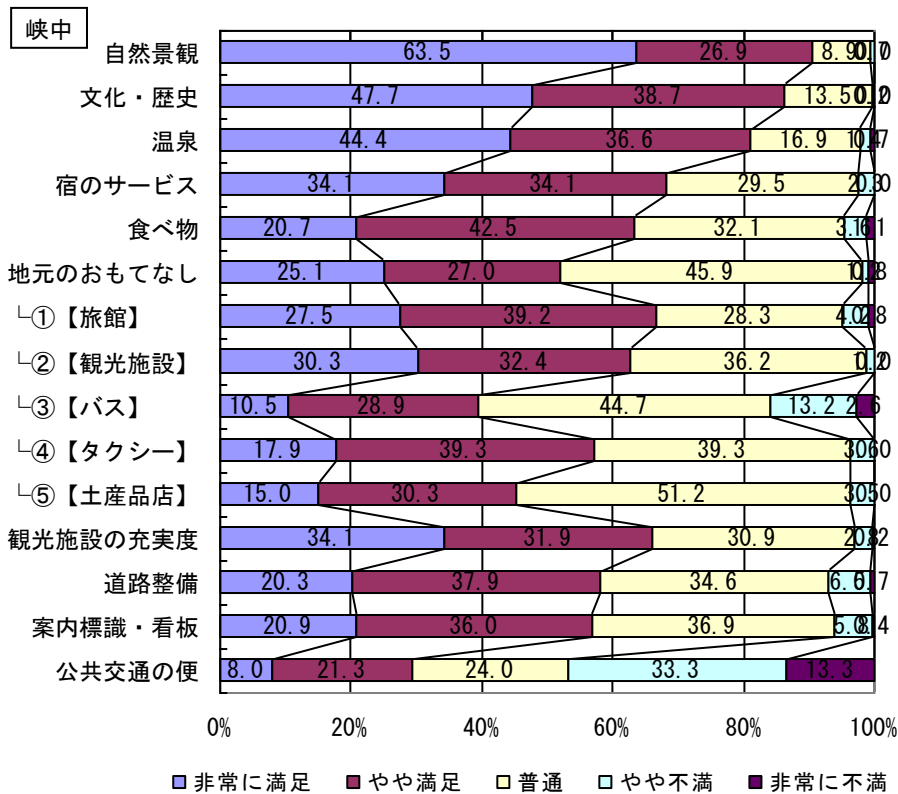
温泉に対する満足度が 94.7%と他の圏域に比べ最も高い。これは調査地点の一つが人気のある温泉施設であったことが影響していると思われる。また、「公共交通の便」について、「やや不満」、「非常に不満」との回答が全体に比べて多くなっている。

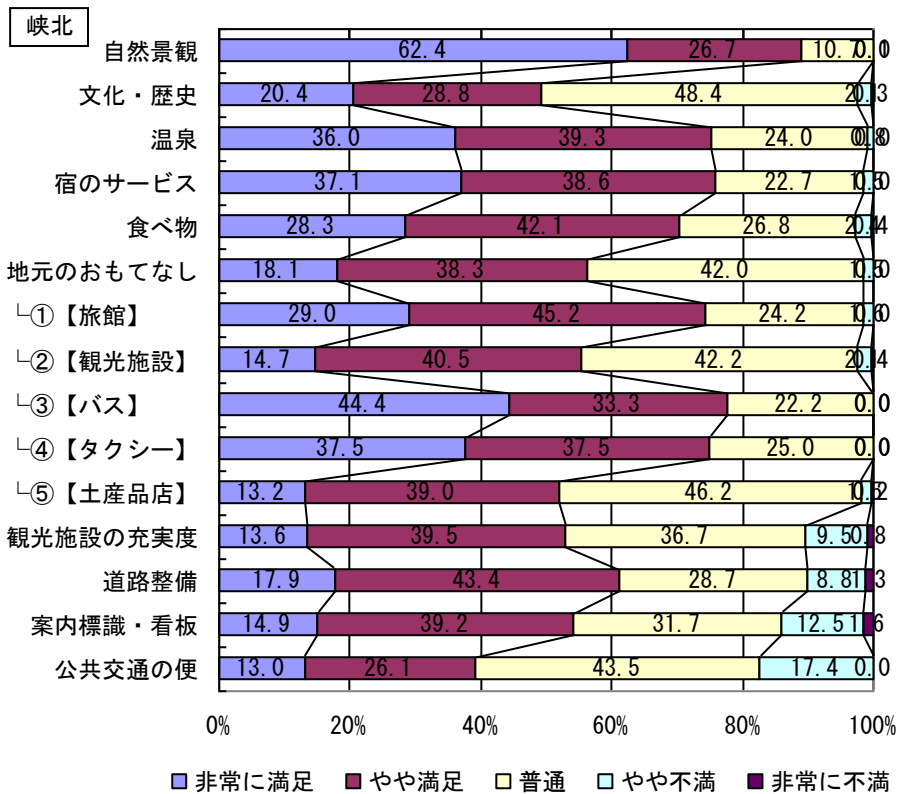
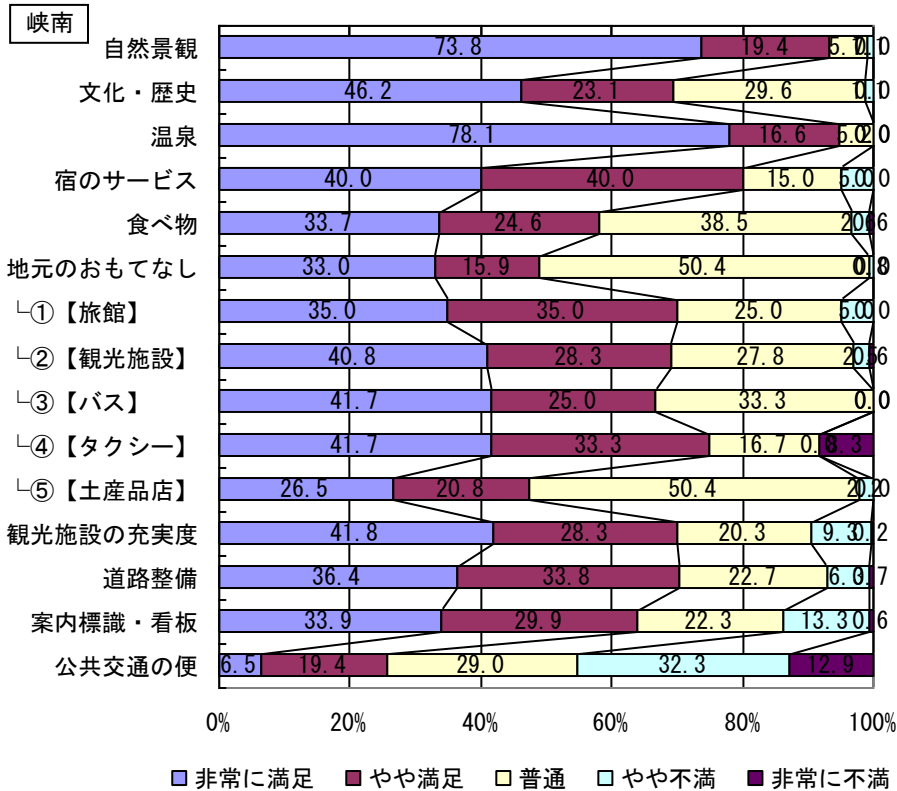
◆峡北

自然景観に対する満足度が 89.1%と高い。「文化・歴史」に対する満足度が他の圏域に比べて低い。これはこの地域が自然やレクリエーション、ショッピングなどを観光資源とするリゾート地であることを反映しているものと考えられる。また、「地元のおもてなし」のうち、「バス」に対する満足度 77.7%と他の圏域に比べて高い。

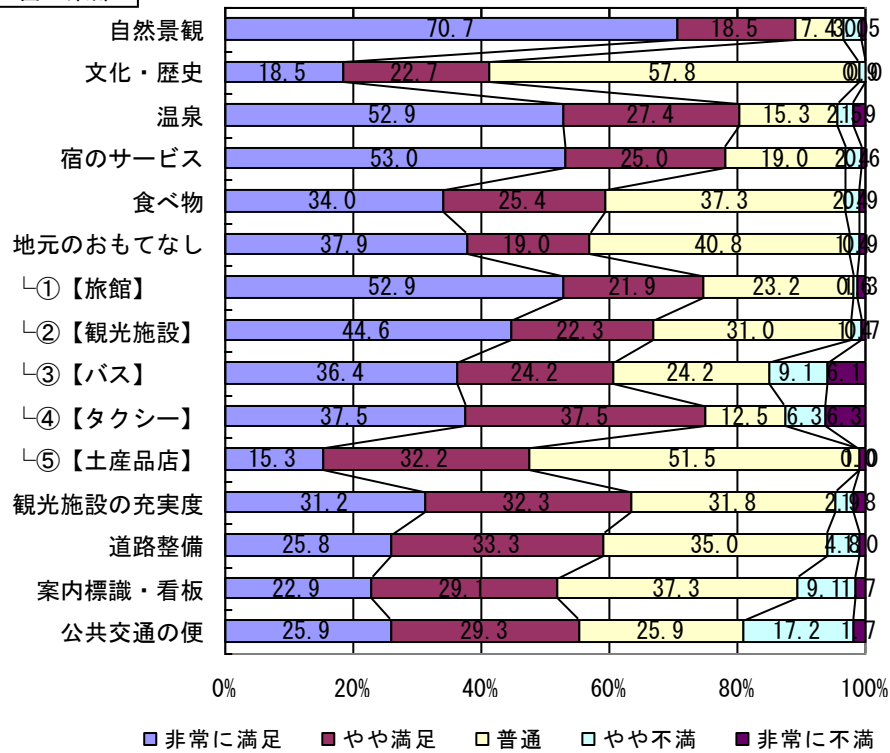
◆富士・東部

自然景観に対する満足度が 89.2%と高い。しかし、峡北と同様に「文化・歴史」の満足度が低い。調査地がレクリエーション施設であることが背景になっていると考えられる。また、「地元のおもてなし」のうち、「旅館」と「観光施設」に対して「非常に満足」とした人の割合が他の圏域を上回っている。





富士東部



参考資料（アンケート調査票）

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名： _____) 海外の場合（国名： _____)

山梨県内の場合
→ (市町村名 _____)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別： 1. 男性 2. 女性

年齢： 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。
また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊

宿泊した施設の数 ↓

→ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 ⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設

↓

<県内宿泊施設>

1. 実家や知人・親戚宅 2. 旅館 3. ホテル 4. ペンション・民宿 5. 保養所・研修所
6. キャンプ場 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 8. 別荘・リゾートマンション
9. 会員制の宿泊施設 10. その他

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

また観光の場合、その目的はなんですか（複数回答可）。

1. ビジネス 2. 観光 3. 帰省 4. (1～3のどれでもない) その他

観光目的

1. 自然を楽しむ 2. 温泉を楽しむ 3. 名所、旧跡、歴史 4. 行楽（遊園地、観光施設等）
5. 慰安旅行 6. 登山、トレッキング 7. スポーツ、レクリエーション 8. 収穫体験
9. ものづくり体験 10. ショッピング 11. 郷土料理 12. 文化、芸術 13. 祭り、イベント
14. 保養、休養 15. 旅先での出会い・交流 16. 目的地とは別の立ち寄り 17. その他

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

(_____) 人

2人以上の場合
→ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 (_____) 人、2回目の人数 (_____) 人
3回目の人数 (_____) 人、4回目以上の人数 (_____) 人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたの山梨県への訪問割合はどれくらいですか。

また、ご一緒のみなさん全員の、当県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

訪問割合 1. 1年に1回以上 2. 2～3年に1回程度 3. 5年に1回程度
4. 10年に1回程度 5. 今回の旅行が初めて

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 (_____) 人、2回目の人数 (_____) 人
3回目の人数 (_____) 人、4回目以上の人数 (_____) 人

Q8. 旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

1. 家族・友人の話 2. 観光案内所・情報センター 3. 旅行者 4. テレビ・ラジオの番組
 5. テレビ・ラジオのCM 6. インターネット 7. 新聞・雑誌の記事 8. 新聞・雑誌の広告・チラシ
 9. ガイドブック 10. 旅行専門雑誌 11. 旅行・歴史等に関する本、小説
 12. 観光物産展、キャンペーン 13. パンフレット 14. 駅・車内のポスター 15. その他 ()

Q9. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
 また、当県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

	ここに来る前にいた場所	現在地	これから行く予定の場所	
居住地	→	→	→	→
[]	[]	調査地点	[]	居住地
交通機関 []	交通機関 []	交通機関 []	交通機関 []	交通機関 []

【表】交通機関

① J R 新幹線	② J R 在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他		

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに来る前にいた県	現在地	これから行く予定の県	
居住地	→	→	→	→
[]	県	当 県	県	居住地
交通機関 []	交通機関 []		交通機関 []	交通機関 []

※交通機関は上表から選択

Q10. 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入

※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択

	使用費用		使用費用	
① 交通費	(県内分) 円		(県外分) 円	
② 宿泊費	(県内分) 円			
③ 土産代	(県内分) 円			
④ 飲食費	(県内分) 円			
⑤ 入場料	(県内分) 円			
⑥ その他	(県内分) 円			
⑦ パック料金				円

□ 県内分のみ もしくは □ 県外分含む

Q1 1. 今回の山梨県内の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するもの○印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1. 自然景観	1	2	3	4	5	6
2. 文化・歴史	1	2	3	4	5	6
3. 温泉	1	2	3	4	5	6
4. 宿のサービス	1	2	3	4	5	6
5. 食べ物	1	2	3	4	5	6
6. 地元のおもてなし	1	2	3	4	5	6
①旅館等	1	2	3	4	5	6
②観光施設	1	2	3	4	5	6
③バス	1	2	3	4	5	6
④タクシー	1	2	3	4	5	6
⑤土産品店	1	2	3	4	5	6
7. 観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
8. 道路整備	1	2	3	4	5	6
9. 案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
10. 公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q1 2. 山梨県では、皆さまに気軽に何度でも訪れていただける観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1. 観_共通_日				:	

調査員記入欄

調査地点名：	調査年月日：平成22年 月 日
調査員名：	調査時刻：(:)